

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴1: 歴代志下 第1章

2歴1:1 ダビデの子ソロモンはその国に自分の地位を確率した。その神、主が共にいまして彼を非常に大いなる者にされた。

2歴1:2 ソロモンはすべてのイスラエルびと、すなわち1000人の長、100人の長、さばきびとおよびイスラエル全地のすべてのつかさ、氏族のかしらたちに告げた。

2歴1:3 そしてソロモンとイスラエルの全会衆はともにギベオンにある高き所へ行った。主のしもべモーセが荒野で造った神の会見の幕屋がそこにあたからである。

2歴1:4 (しかし神の箱はダビデがすでにキリアテ・ヤリムから、これのために備えた所に運び上らせてあった。ダビデはさきに、エルサレムでこれのために天幕を張って置いたからである。)

2歴1:5 またホルの子であるウリの子ベザレルが造った青銅の祭壇がその所の主の幕屋の前にあり、ソロモンおよび会衆は主に求めた。

2歴1:6 ソロモンはそこに上って行って、会見の幕屋のうちにある主の前の青銅の祭壇に燔祭1000をささげた。

2歴1:7 その夜、神はソロモンに現れて言われた、“あなたに何を与えようか、求めなさい”。

2歴1:8 ソロモンは神に言った、“あなたはわたしの父ダビデに大いなるいつくしみを示し、またわたしを彼に代って王とされました。

2歴1:9 主なる神よ、どうぞわが父ダビデに約束された事をはたしてください。あなたは地のちりのような多くの民の上にわたしを立てて王とされたからです。

2歴1:10 この民の前に入り出すことのできるように今わたしに知恵と知恵とを与えてください。だれがこのよう大いなるあなたの民をさばくことができますでしょうか”。

2歴1:11 神はソロモンに言われた、“この事があなたの心にあつて、富をも、宝をも、誉も、またあなたを憎む者の命をも求めず、また長命をも求めず、ただわたしがあなたを立てて王としたわたしの民をさばくために知恵と知識とを自分のために求めたので、

2歴1:12 知恵と知識とはあなたに与えられている。わたしはまたあなたの前の王たちの、まだ得たことのないほどの富と宝と誉とをあなたに与えよう。あなたの後の者も、このようなものを得ないでしょう”。

2歴1:13 それからソロモンはギベオンの高き所を去り、会見の幕屋の前を去って、エルサレムに帰り、イスラエルを治めた。

2歴1:14 ソロモンは戦車と騎兵とを集めたが、戦車1400両、騎兵12000人あった。ソロモンはこれを戦車の町々と、エルサレムの王のもとに置いた。

2歴1:15 王は銀と金を石のようにエルサレムに多くし、香柏を平野のいちじく桑のように多くした。

2歴1:16 ソロモンが馬を輸入したのはエジプトとクエからであった。すなわち王の貿易商人がクエから代価を払って受け取って来た。

2歴1:17 彼らはエジプトから戦車1両を銀600シケルで輸入し、馬1頭を銀150で輸入した。同じようにこれらのものが彼らによってヘテびとのすべての王たち、およびスリヤの王たちにも輸出された。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴2: 歴代志下 第2章

2歴2:1 さてソロモンは主の名のために1つの宮を建て、また自分のために1つの王宮を建てようと思った。

2歴2:2 そしてソロモンは荷を負う者7万人、山で石を切り出す者8万人、これらを監督する者3600人を数え出した。

2歴2:3 ソロモンはまずツロのヒラムに人をつかわして言わせた、“あなたはわたしの父ダビデに、その住むべき家を建てるために香柏を贈られました。どうぞ彼にされたように、わたしにもして下さい。

2歴2:4 見よ、わたしはわが神、主の名のために1つの家を建て、これを聖別して彼にささげ、彼の前にこうばしい香をたき、常供のパンを供え、また燔祭を安息日、新月、およびわれらの神、主の定め祭に朝夕ささげ、これをイ

スラエルのながく守るべき定めにしようとしています。

2歴2:5 またわたしの建てる家は大きな家です。われらの神はすべての神よりも大いなる神だからです。

2歴2:6 しかし、天も、諸天の天も彼を入れることができないのに、だれが彼のために家を建てることができましょうか。わたしは何者ですか、彼のために家を建てるというのも、だれが彼のために家を建てることができましょうか。わたしは何者ですか、彼のために家を建てるというのも、◆

2,6-1,建てるというのも、ただ彼の前に香をたく所に、ほかならないのです。

2歴2:7 それで、どうぞ金、銀、青銅、鉄の細工および紫糸、緋糸、青糸の織物にくわしく、また彫刻の術に巧みな工人のひとりをわたしに送って、父ダビデが供えておいたユダとエルサレムのわたしの工人たちと一緒に働かせてください。

2歴2:8 またどうぞバノンから香柏、いとすぎ、びやくだんを送ってください。わたしはあなたのしもべたちがレバノンで木を切ることをよくわきまえているのを知っています。わたしのしもべたちも、あなたのしもべたちと一緒に働かせ、

2歴2:9 わたしのためにたくさんの材木を備えさせてください。わたしの建てる家は非常に広大なものですから。

2歴2:10 わたしは木を切るあなたのしもべたちに砕いた小麦2万コル、大麦2万、ぶどう酒2万バテ、油2万バテを与えます”。

2歴2:11 そこでツロの王ヒラムは手紙をソロモンに送って答えた、“主はその民を愛するゆえに、あなたを彼らの王とされました”。

2歴2:12 ヒラムはまた言った、“天地を造られたイスラエルの神、主はほむべきかな。彼はダビデ王に賢い子を与え、これに分別と知恵を授けて、主のために宮を建て、また自分のために、王宮を建てることをさせられた。

2歴2:13 いまわたしは達人ヒラムという知恵のある工人をつかわします。

2歴2:14 彼はダンの子孫である女を母とし、ツロの人を父とし、金銀、青銅、鉄、石、木の細工および紫糸、青糸、亜麻糸、緋糸の織物にくわしく、またよくもろもろの彫刻をし、意匠を懲らしてもろもろの工作をします。彼を用いてあなたの工人およびあなたの父、わが主ダビデの工人と一◆

2,14-1,ダビデの工人と一緒に働かせなさい。

2歴2:15 それでいまわが主の言われた小麦、大麦、油およびぶどう酒をそのしもべどもに送ってください。

2歴2:16 あなたの求められる材木はレバノンから切りだし、いかに組んで、海からヨッパに送ります。あなたはそれをエルサレムに運び上げなさい”。

2歴2:17 そこでソロモンはその父ダビデが数えたようにイスラエルの国にいるすべての他国人を数えたが、合わせて153600人あった。

2歴2:18 彼はその7万人を荷を負う者とし、8万人を山で木や石を切る者とし、3600人を民を働かせる監督者とした。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴3: 歴代志下 第3章

2歴3:1 ソロモンはエルサレムのモリアの山に主の宮を建てることを始めた。そこは父ダビデに主が現れられた所、すなわちエブスびとオルナンの打ち場にダビデが備えた所である。

2歴3:2 ソロモンが宮を建て始めたのは、その治世の4年の2月であった。

2歴3:3 ソロモンの建てた神の宮の基の寸法は次のとおりである。すなわち昔の尺度によれば長さ60キュビト、幅20キュビト、

2歴3:4 宮の前の廊は宮の幅に従って長さ20キュビト高さ120キュビトで、その内部は純金でおおった。

2歴3:5 またその拝殿はいとすぎの板で張り、精勤をもってこれをおおい、その上にしゅろと鎖の形を施した。

2歴3:6 また宝石をはめ紺で宮を飾った。その金はバルワイムの金であった。

2歴3:7 彼はまた金をもってその宮、すなわち、梁、敷居、壁および戸をおおい、壁の上にケルビムを彫りつけた。

2歴3:8 彼はまた至聖所を造った。その長さは宮の長さにしたがって20キュビト、幅も20キュビトである。彼は精金600タラントをもってこれをおおった。

2歴3:9 その釘の金の重さは50シケルであった。彼はまた会場の室も金でおおった。

2歴3:10 彼は至聖所に木を刻んだケルビム蔵を2つ造り、これを金でおおった。

2歴3:11 ケルビムの翼の長さは合わせて20キュビトあった。あった。すなわち1つのケルビムの1つの翼は5キュビト

で、宮の壁に届き、ほかの翼も5キュビトで、他のケルブの翼に届き、

2歴3:12 他のケルブの1つの翼も5キュビトで、宮の壁に届き、ほかの翼5キュビトで、先のケルブの翼に接していた。

2歴3:13 これらのケルビムの翼を広げると20キュビトであった。彼らは共に足で立ち、その顔は拝殿に向かっていた。

2歴3:14 ソロモンはまた青糸、紫糸、緋糸および亜麻糸で垂幕を造り、その上にケルビムの縫い取りを施した。

2歴3:15 彼は宮の前に柱を2本造った。その高さは35キュビト、おのおの柱の頂に5キュビトの柱頭を造った。

2歴3:16 彼は首飾のような鎖を造って、柱の頂につけ、ざくろ百を造ってその鎖の上につけた。

2歴3:17 彼はこの柱を神殿の前に、1本を南の方に、1本を北の方に立て、南の方のをヤキンと名づけ、北の方のをボアズと名づけた。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴4: 歴代志下 第4章

2歴4:1 ソロモンはまた青銅の祭壇を造った。その長さ20キュビト、幅20キュビト、高さ10キュビトである。

2歴4:2 彼はまた海を鑄て造った。縁から縁まで10キュビトであって、周囲は円形をなし、高さ5キュビトで、その周囲は綱をもって測ると30キュビトあった。

2歴4:3 海の下は30キュビトの周囲をめぐるひさごの形があって、海の周囲を囲んでいた。そのひさごは2並びで、海を鑄る時に鑄たものである。

2歴4:4 その海は12の牛の上に置かれ、その3つは北に向かい、3つは西に向かい、3つは南に向かい、3つは東に向かっていた。海はその上に置かれ、牛のうしろはみな打ちに向かっていた。

2歴4:5 海の有るさは手の幅で、その縁は杯の縁のように、ゆりの花に似せて造られた。海には水を3000バテ入れることができた。

2歴4:6 彼はまた物を洗うために洗盤10子を造って、5個を南側に、5個を北側に置いた。その中で燔祭に用いるものを洗った。しかし海は祭司がその中で身を洗うためであった。

2歴4:7 彼はまた金の燭台10子をその定めに従って造り、拝殿の中の南側に5個、北側に5個を置き、

2歴4:8 また机10個を造り、神殿の中の南側に5個、北側に5個を置き、また金の鉢100を造った。

2歴4:9 彼はまた祭司の庭と大庭および庭の戸を造り、その戸を青銅でおおった。

2歴4:10 彼は海を宮の東南のすみにすえた。

2歴4:11 ヒラムはまたつぼと十能と鉢とを造った。こうしてヒラムはソロモン王のため、神の宮の工事を終えた。

2歴4:12 すなわち2本の柱と玉と、柱の頂にある2つの柱頭と、柱の頂にある柱頭の2つの玉をおおう2つの網細工と、

2歴4:13 その2つの網細工のためにざくろ400、このざくろはおのおの網細工に2並びにつけて、柱の頂にある柱頭の2つの玉を巻いていた。

2歴4:14 彼はまた台と台の上の洗盤と、

2歴4:15 1つの海とその下の12の牛を造った。

2歴4:16 つぼ、十能、肉さしなどすべてこれらの器物を、達人ヒラムはソロモン王のため、主の宮のために、光のある青銅で造った。

2歴4:17 王はヨルダンの低地で、スコテとゼレダの間の粘土の地でこれを鑄た。

2歴4:18 このようにソロモンはこれらのすべての器物を非常に多く造ったので、その青銅の重量は、量ることができなかった。

2歴4:19 こうしてソロモンは神の宮のすべての器を造った。すなわち金の祭壇と、供えのパンを載せる机、

2歴4:20 また定めのように本殿の前で火をともし純金の燭台と、そのともしび皿を造った。

2歴4:21 その花、ともしび皿、心かきは精金であった。

2歴4:22 また心切りばさみ、鉢、香の杯、心取り皿は純金であった。また宮の戸、すなわち至聖所の内部の戸および拝殿の戸のひじつぼは金であった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴5: 歴代志下 第5章

2歴5:1 こうしてソロモンは主の宮のためにしたすべての工事を終った。そしてソロモンは父ダビデがささげた物、すなわち金銀およびもろもろの器を携えて行って神の宮の宝蔵に納めた。

2歴5:2 ソロモンは主の契約の箱をダビデの町紫苑からかつぎ上ろうとして、イスラエルの長老たちと、すべての部族のかしらたちと、イスラエルの人々の氏族の長たちをエルサレムに召し集めた。

2歴5:3 イスラエルの人々は皆7月の祭に王のもとに集まった。

2歴5:4 イスラエルの長老たちが皆きたので、レビびとたちは箱を取り上げた。

2歴5:5 彼らは箱と、会見の幕屋と、幕屋にあるすべて聖なる器をかつぎ上った。すなわち祭司とレビびとがこれらの物をかつぎ上った。

2歴5:6 ソロモン王および彼のもとに集まったイスラエルの会衆は皆箱の前で羊と牛をささげたが、その数が多くて、調べることも数えることもできなかった。

2歴5:7 こうして祭司たちは主の契約の箱をその場所にかつぎ入れ、宮の本殿である至聖所のうちのケルビムの翼の下に置いた。

2歴5:8 ケルビムは翼を箱の所の上に伸べていたので、ケルビムは上から箱とそのさおをおおった。

2歴5:9 さおは長かったので、さおの端が本殿の前の聖所から見えた。しかし外部には見えなかった。さおは今日までそこにある。

2歴5:10 箱の打ちには2枚の板のほか何もなかった。これはイスラエルの人々がエジプトから出て来たとき、主が彼らと契約を結ばれ、モーセがホレブでそれを納めたものである。

2歴5:11 そして祭司たちが聖所から出たとき(ここにいた祭司たちは皆、その組の順にかかわらず身を清めた。

2歴5:12 またレビびとの歌うたう者、すなわちアサフ、ヘマン、エドトンおよびかれらの子たちと兄弟たちはみな亜麻布を着、シンバルと立琴と、琴をとって祭壇の東に立ち、120人の祭司は彼らと一緒に立ってラッパを吹いた。

2歴5:13 ラッパ吹く者と歌うたう者とは、ひとりのように声を合わせて主をほめ、感謝した)。そして彼らがラッパと、シンバルとその他の楽器をもって声をふりあげ、主をほめて“主は恵あり、そのあわれみはとこしえに絶えることがない”と言ったとき、雲はその宮すなわち主の宮

2歴5:14 祭司たちは雲のゆえに立って勤めをすることができなかった。主の栄光が神の宮に満ちたからである。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴6: 歴代志下 第6章

2歴6:1 そこでソロモンは言った、“主がみずから濃き雲の中に住まおうと言われた。

2歴6:2 しかしわたしはあなたのために高き家、とこしえのみすまいを建てた”。

2歴6:3 そして王は顔をふり向けてイスラエルの全会衆を祝福した。その時イスラエルの全会衆は立っていた。

2歴6:4 彼は言った、“イスラエルの神、主はほむべきかな。主は口をもってわが父ダビデに約束されたことを、その手をもってなし遂げられた。すなわち主は言われた、

2歴6:5 ‘わが民をエジプトの地から導きだした日から、わたしはわが名を置くべき家を建てるために、イスラエルのもろもろの部族のうちから、どの町をも選んだことがなく、また他のだれをもわが民イスラエルの君として選んだことがない。

2歴6:6 わが名を置くために、ただエルサレムだけを選び、またわが民イスラエルを治めさせるために、ただダビデだけを選んだ’。

2歴6:7 いすらえるの神、主の名のために家を建てることは、父ダビデの心にあった。

2歴6:8 しかし主は父ダビデに言われた、‘わたしの名のために家を建てることはあなたの心にあった。あなたの心にこの事のあったのは結構である。

2歴6:9 しかしあなたはその家を建ててはならない。あなたの腰から出るあなたの子がわたしの名のために家を建てるであろう’。

2歴6:10 そして主はそう言われた言葉を行われた。すなわちわたしは父ダビデに代って立ち、主が言われたように、イスラエルの位に座し、イスラエルの神、主の名のために家を建てた。

2歴6:11 わたしはまた、主がイスラエルの人々と結ばれた主の契約を入れた箱をそこに治めた”。

2歴6:12 ソロモンはイスラエルの全会衆の前、主の祭壇の前に立って、手を伸べた。

2歴6:13 ソロモンはさきに長さ5キュビト、幅5キュビト、高さ30キュビトの青銅の台を造って、庭のまん中にすえて置いたので、彼はその上に立ち、イスラエルの全会衆の前でひざをかがめ、その手を天に伸べて。

2歴6:14 言った、「イスラエルの神、主よ、天にも地にも、あなたのような神はありません。あなたは契約を守られ、心をつくしてあなたの前に歩むあなたのしもべらに、いつくしみを施し、

2歴6:15 あなたのしもべ、わたしの父ダビデに約束されたことを守られました。あなたが口をもって約束されたことを、手をもってなし遂げられたことは、今日見るとおりであります。

2歴6:16 それゆえ、イスラエルの神、主よ、あなたのしもべ、わたしの父ダビデに、あなたが約束して、「おまえがわたしの前に歩んだように、おまえの子孫がその満ちを慎んで、わたしのおきてに歩むならば、おまえにはイスラエルの位に座する人がわたしの前に欠けることはない」と言わ

6,16-1,欠けることはないと言われたことを、ダビデのためにお守りください。

2歴6:17 それゆえ、イスラエルの神、主よ、どうぞ、あなたのしもべダビデに言われた言葉を確認してください。

2歴6:18 しかし神は、はたして人と共に地上に住まわれるでしょう。見よ、天も、いと高き天もあなたをいれることはできません。わたしの建てたこの家などなおさらです。

2歴6:19 しかしわが神、主よ、しもべの祈と願いを顧みて、しもべがあなたの前にささげる叫びと祈をお聞きください。

2歴6:20 どうぞ、あなたの目を昼も夜もこの家に、すなわち、あなたの名をそこに置くと言われた所に向かってお聞きください。どうぞ、しもべがこの所に向かってささげる祈をお聞きください。

2歴6:21 どうぞ、しもべと、あなたの民イスラエルがこの所に向かって祈る時に、その願いをお聞きください。あなたのすみかである天から聞き、聞いておゆるしください。

2歴6:22 もし人がその隣人に対して罪を犯し、誓いをするを求められるとき、来てこの宮で、あなたの祭壇の前に誓うならば、

2歴6:23 あなたは天から聞いて、行い、あなたのしもべらをさばき、悪人に報いをなして、その行いの報いをそのこうべに帰し、義人を義として、その義にしたがってその人に報いてください。

2歴6:24 もしあなたの民イスラエルが、あなたに対して罪を犯したために、敵の前に破れた時、あなたに立ち返って、あなたの名をあがめ、この宮であなたの前に祈り願うならば、

2歴6:25 あなたは天から聞き、あなたの民イスラエルの罪をゆるして、あなたが彼らとその先祖に与えられた地に彼らを帰らせてください。

2歴6:26 もし彼らがあなたに罪を犯したために、天から閉ざされて、雨がなく、あなたが彼らを苦しめられるとき、彼らがこの所に向かって祈り、あなたの名をあがめ、その罪を離れるならば、

2歴6:27 あなたは天にあって聞き、あなたのしもべ、あなたの民イスラエルの罪をゆるして、彼らに歩むべき良い道を教え、あなたの民に嗣業として賜った地に雨を降らせてください。

2歴6:28 もし国にききんがあるか、もしくは疫病、立ち枯れ、腐り穂、いなご、青虫があるか、または敵のために町の門の中に攻め囲まれることがあるか、どんな災害、どんな病気があっても、

2歴6:29 もしひとりが、あるいはあなたの民イスラエルが皆おのおのその心に悩みを知って、この宮に向かい、手を伸べるならば、どんな祈、どんな願いでも、

2歴6:30 あなたはそのすみかである天から聞いてゆるし、おのおの人に、その心を知っておられるゆえ、そのすべての道にしたがって報いてください。ただあなただけがすべての人の心を知っておられるからです。

2歴6:31 あなたがわれわれの先祖たちに賜った地に、彼らの生きながらえる日の間、常にあなたを恐れさせ、あなたの道に歩ませてください。

2歴6:32 またあなたの民イスラエルの者でなく、他国人で、あなたの大いなる名と、強い手と、伸べた腕のために遠い国から来て、この宮に向かって祈るならば、

2歴6:33 あなたは、あなたのすみかである天から聞き、すべて他国人があなたに呼び求めるようにしてください。そうすれば地のすべての民はあなたの民イスラエルのように、あなたの名を知り、あなたを恐れ、またわたしが建てたこの宮が、あなたの名によって呼ばれることを知るにいたる

6,33-1,知るにいたるでしょう。

2歴6:34 あなたの民が敵と戦うために、あなたがつかわされる道によって出るとき、もし彼らがあなたの選ばれたこの町と、わたしがあなたの名のために建てたこの宮に向かってあなたに祈るならば、

2歴6:35 あなたは天から彼らの祈と願いを聞いて彼らをお助けください。

2歴6:36 彼らがあなたに対して罪を犯すことがあって、――罪を犯さない人はないゆえ、――あなたが彼らを怒って、敵にわたし、敵が彼らを捕虜として遠い地あるいは近い地に引いて行くとき、

2歴6:37 もし、彼らが捕らわれて行った地で、みずから省みて悔い、その捕らわれの地であなたに願い、「われわ

れは罪を犯し、よこしまな事をし、悪を行いました'と言い、

2歴6:38 その捕らわれの地で心をつくし、精神をつくしてあなたに立ち返り、あなたが彼らの先祖に与えられた地、あなたが選ばれた町、わたしがあなたの名のために建てたこの宮に向かって祈るならば、

2歴6:39 あなたのすみかである天から、彼らの祈りと願いとを聞いて彼らを助け、あなたに向かって罪を犯したあなたの民をおゆるしてください。

2歴6:40 わが神よ、どうぞ、この所でささげる祈りにあなたの目を開き、あなたの耳を傾けてください。

2歴6:41 主なる神よ、今あなたと、あなたの力の箱が立って、あなたの安息所におはいりください。主なる神よ、どうぞあなたの祭司たちに救の衣を着せ、あなたの聖徒たちに恵を喜ばせてください。

2歴6:42 主なる神よ、どうぞあなたの油そそがれた者の顔を退けないでください。あなたのしもべダビデに示されたいつくしみを覚えて下さい”。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴7:1

2歴7: 歴代志下 第7章

2歴7:1 ソロモンが祈り終ったとき、天から火が下って燔祭と犠牲を焼き、主の栄光が宮に満ちた。

2歴7:2 主の栄光が主の宮に満ちたので、祭司たちは主の宮に、はいることができなかった。

2歴7:3 イスラエルの人々はみな火が下ったのを見、また主の栄光が宮に臨んだのを見て、敷石の上で地にひれ伏して拝し、主に感謝して言った、“主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない”。

2歴7:4 そして王と民は皆主の前に犠牲をささげた。

2歴7:5 ソロモン王のささげた犠牲は、牛2万2千頭、羊12万頭であった。こうして王と民は皆神の宮をささげた。

2歴7:6 祭司はその持ち場に立ち、レビびとも主の楽器をとって立った。その楽器はダビデ王が主に感謝するために造ったもので、ダビデが彼らの手によってさんびをささげるとき、“そのいつくしみは、とこしえに絶えることがない”となえさせたものである。祭司は彼らの前でラッパを

7,6-1,前でラッパを吹き、すべてのイスラエルびとは立っていた。

2歴7:7 ソロモンはまた主の宮の前にある庭の中を聖別し、その所で、燔祭とおんさい酬恩祭のあぶらをささげた。これはソロモンが造った青銅の祭壇が、そお燔祭と素祭とあぶらとを載せるに足りなかったからである。

2歴7:8 その時ソロモンは7日の間祭を行った。ハマテの入口からエジプトの川に至るまでのすべてのイスラエルびとが彼と共にあり、非常に大きな会衆であった。

2歴7:9 そして8日目に聖会を開いた。彼らは7日の間、祭壇奉獻の礼を行い、7日の間祭を行ったが、

2歴7:10 7月23日に至ってソロモンは民をその天幕に帰らせた。皆主がダビデ、ソロモンおよびその民イスラエルに施された恵みのために喜び、かつ心に楽しんで去った。

2歴7:11 こうしてソロモンは主の家と王の家とを造り終えた。すなわち彼は主の家と自分の家について、しようと計画したすべての事を首尾よくなし遂げた。

2歴7:12 時に主は夜ソロモンに現れて言われた、“わたしはあなたの祈を聞き、この所をわたしのために選んで、犠牲をささげる家とした。

2歴7:13 わたしが天を閉じて雨をなくし、またはわたしがいなごに命じて地の物を食わせ、また疫病を民の中に送るとき、

2歴7:14 わたしの名をもってとなえられるわたしの民が、もしへりくだり、祈って、わたしの顔を求め、その悪い道を離れるならば、わたしは天から聞いて、その罪をゆるし、その地をいやす。

2歴7:15 今この所にささげられる祈にわたしの目を開き、耳を傾ける。

2歴7:16 今わたしはわたしの名をながくここにとどめるために、この宮を選び、かつ聖別した。わたしの目とわたしの心は常にここにある。

2歴7:17 あなたがもし父ダビデの歩んだようにわたしの前に歩み、わたしが命じたとおりにすべて行って、わたしの定めとおきてとを守るならば、

2歴7:18 わたしはあなたの父ダビデに契約して‘イスラエルを治める人はあなたに欠けることがない’と言ったとおりに、あなたの王の位を堅くする。

2歴7:19 しかし、あなたがたがもし翻って、わたしがあなたがたの前に置いた定めと戒めとを捨て、行って他の神々に仕え、それを拝むならば、

2歴7:20 わたしはあなたがたをわたしの与えた地から抜き去り、またわたしの名のために聖別したこの宮をわたしの前から投げ捨ててもろもろの民のうちにことわざとし、笑い草とする。

2歴7:21 またこの宮は他界けれども、ついには、そのかたわらを過ぎる物は皆驚いて、'何ゆえ主はこの地と、この宮とにこのようにされたのか'と言うであろう。

2歴7:22 その時、人々は答えて'彼らはその先祖たちをエジプトの地から導き出した彼らの神、主を捨てて、他の神々につき従い、それを拝み、それに仕えたため、主はこのすべての災いを彼らの上に下したのである'と言うであろう”。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴8: 歴代志下 第8章

2歴8:1 ソロモンは20年を経て、主の家と自分の家とを建て終った。

2歴8:2 またソロモンはヒラムから送られた町々を建て直して、そこにイスラエルの人々を住ませた。

2歴8:3 ソロモンはまたハマテ・ゾバを攻めて、これを取った。

2歴8:4 彼はまた荒野にタデモルを建て、もろもろの倉の町をハマテに建てた。

2歴8:5 また城壁、門、貫の木のある堅固な町、上ベテホロンと下ベテホロンを建てた。

2歴8:6 ソロモンはまたバアラテと自分のもっていたすべての倉の町と、すべての戦車の町、ならびにエルサレム、レバノンおよび自分の治める全地方に建てようと望んだものを、ことごとく建てた。

2歴8:7 すべてイスラエルの子孫でないヘテびと、アモリびと、ペリジびと、ヒビびと、エブズびとの残った民、

2歴8:8 その地において彼らのあとに残ったその子孫、すなわちイスラエルの子孫が滅ぼし尽さなかった民に、ソロモンは強制徴募をおこなって今日に及んでいる。

2歴8:9 しかし、イスラエルの人々をソロモンはその工事のためには、ひとりも奴隷としなかった。彼らは兵士となり、将校となり、戦車と、騎兵の長となった。

2歴8:10 これらはソロモン王のおもな官吏で、250人あり、民を治めた。

2歴8:11 ソロモンはパロの娘をダビデの町から連れ上って、彼女のために建てた家に入れて言った、"主の箱を迎えた所は神聖であるから、わたしの妻はイスラエルの王ダビデの家に住んではならない”。

2歴8:12 ソロモンは廊の前に築いておいた酬の祭壇の上で主に燔祭をささげた。

2歴8:13 すなわちモーセの命令に従って、毎日定めのようにささげ、安息日、新月および年に3度の祭、すなわち種入れぬパンの祭、7週の祭、仮庵の祭にこれをささげた。

2歴8:14 ソロモンは、その父ダビデのおきてに従って、祭司の組を定めてその職に任じ、またレビびとをその勤めに任じて、毎日定めのように祭司の前でさんびと奉仕をさせ、また門を守る者に、その組にしたがって、もろもろの門を守らせた。これは神の人ダビデがこのように命じたからで◆

8,14-1,命じたからである。

2歴8:15 祭司とレビびとはすべての事につき、また倉の事について、王の命令にそむかなかった。

2歴8:16 このようにソロモンは、主の宮の基をすえた日からこれをなし終えたときまで、その工事の準備をことごとくなしたので、主の宮は完成した。

2歴8:17 それからソロモンはエドムの地の海べにあるエジオン・ゲベルおよびエロテへ行った。

2歴8:18 時にヒラムはそのしもべどもの手によって船団を彼に送り、また海の事になれたしもべどもをつかわしたので、彼らはソロモンのしもべらと共にオフルへ行き、そこから金450タラントを取って、これをソロモン王のもとに携えてきた。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴9: 歴代志下 第9章

2歴9:1 シバの女王はソロモンの名声を聞いたので、難問をもってソロモンを試みようとして、非常に多くの従者を連れ、香料と非常にたくさんの金と宝石とをらくだに負わせて、エルサレムのソロモンのもとに来て、その心にあることをことごとく彼に告げた。

2歴9:2 ソロモンは彼女のすべての間に答えた。ソロモンが知らないで彼女に説明のできないことは1つもなかった。

2歴9:3 シバの女王はソロモンの知恵と、彼が建てた家を見、

2歴9:4 またその食卓の食物と、列座の家来たちと、その侍臣たちの伺候振りと彼らの服装、および彼の給仕たちとその服装、ならびに彼が主の宮でささげる燔祭を見て、全く気を奪われてしまった。

2歴9:5 彼女は王に言った、"わたしが国であなたの事と、あなたの知恵について聞いたうわさは真実でした。

2歴9:6 しかしわたしは来て目に見るまでは、そのうわさを信じませんでした。今見ると、あなたの知恵の大いなることはその半分もわたしに知らされませんでした。あなたはわたしの聞いたうわさにまさっています。

2歴9:7 あなたの奥方たちはさいわいです。常にあなたの前に立って、あなたの知恵を聞くこのあなたの家来たちはさいわいです。

2歴9:8 あなたの神、主はほむべきかな、主はあなたを喜び、あなたをその位につかせ、あなたの神、主のために王とされました。あなたの神はイスラエルを愛して、とこしえにこれを堅くするために、あなたをその王とされ、公道と正義を行われるのであす"。

2歴9:9 そして彼女は金120タラント、および非常に多くの香料と宝石とを王に贈った。シバの女王がソロモンに贈ったような香料は、いまだかつてなかった。

2歴9:10 オフルから金を携えて来たヒラムのしもべたちとソロモンのしもべたちはまた、びやくだんの木と宝石をも携えて来た。

2歴9:11 王はそのびやくだんの木で、主の宮と王の家とに階段を造り、また歌うたう者のために琴と立琴を造った。このようなものはかつてユダの地で見たことがなかった。

2歴9:12 ソロモン王はシバの女王が贈った物に報いたほかに、彼女の望みにまかせて、すべてその求めるものを贈った。そして彼女はその家来たちと共に自分の国へ帰って行った。

2歴9:13 さて1年の間にソロモンの所にはいつて来た金の目方は666タラントであった。

2歴9:14 このほかに貿易商人および商人の携えて来たものがあった。またアラビヤのすべての王たちおよび国の代官たちも金銀をソロモンに携えてきた。

2歴9:15 ソロモン王は延金の大盾200を造った。その大盾にはおのおの600シケルの延金を用いた。

2歴9:16 また延金の小盾300を造った。小盾にはおのおの300シケルの金を用いた。王はこれらをレバノンの森の家に置いた。

2歴9:17 王はまた大きな象牙の王座を造り、純金でこれをおおった。

2歴9:18 その王座には6つの段があり、また金の足台があって共に王座につらなり、その座する所の両方に、ひじかけがあって、ひじかけのわきに2つのししが立っていた。

2歴9:19 また12のししが6つの段のおのおのの両側に立っていた。このような物はどこの国でも造られたことがなかった。

2歴9:20 ソロモン王が飲むときに用いた器はみな金であった。またレバノンの森の家の器もみな純金であって、銀はソロモンの世には尊ばれなかった。

2歴9:21 これは王の船がヒラムのしもべたちよを載せてタルシシへ行き、3年ごとに1度、そのタルシシの船が金、銀、象牙、さる、くじゃくを載せて来たからである。

2歴9:22 このようにソロモン王は富と知恵において、地のすべての王にまさっていたので、

2歴9:23 地のすべての王が神がソロモンの心に授けられた知恵を聞こうとしてソロモンに謁見を求めた。

2歴9:24 人々はおのおの贈り物を携えてきた。すなわち銀の器、金の器、衣服、没薬、香料、馬、騾馬など年々定まっていた。

2歴9:25 ソロモンは馬と戦車のために馬4000と騎兵1万2千を持ち、これを戦車の町に置き、またエルサレムの王のもとに置いた。

2歴9:26 彼はユフラテ川からペリシテびとの地と、エジプトの境に至るまでのすべての王を治めた。

2歴9:27 王はまた銀を石のようにエルサレムに多くし、香柏を平野のいちじく桑のように多くした。

2歴9:28 また人々はエジプトおよび諸国から馬をソロモンのために輸入した。

2歴9:29 ソロモンのそのほかの始終の行為は、預言者ナタンと、シロびとアヒヤの預言と、先見者イドがネバテの子にヤラベアムについて述べた黙示のなかに、しるされているではないか。

2歴9:30 ソロモンはエルサレムで40年の間イスラエルの全地を治めた。

2歴9:31 ソロモンはその先祖たちと共に眠って、父ダビデの町に葬られ、その子レハベアムが代って王となった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴10: 歴代志下 第10章

2歴10:1 レハベアムはシケムへ行った。すべてのイスラエルびとが彼を王にしようとシケムへ行ったからである。

2歴10:2 ネバテの子ヤラベアムはソロモンを避けてエジプトにのがれていたが、これを聞いてエジプトから帰ったので、

2歴10:3 人々は人をつかわして彼を招いた。そこでヤラベアムとすべてのイスラエルは来て、レハベアムに言った、

2歴10:4 あなたの父は、われわれのくびきを重くしましたが、今あなたの父のきびしい使役と、あなたの父が、われわれに負わせた重いくびきを軽くしてください。そうすればわたしたちはあなたに仕えましょう”。

2歴10:5 レハベアムは彼らに答えた、“3日の後、またわたしの所に来なさい”。それで民は去った。

2歴10:6 レハベアム王は父ソロモンの存命中ソロモンに仕えた長老たちに相談して言った、“あなたがたはこの民にどう返答すればよいと思いますか”。

2歴10:7 彼らはレハベアムに言った、“あなたがもしこの民を親切にあつまい、彼らを喜ばせ、ねんごろに語られるならば彼らは長くあなたのしもべとなるでしょう”。

2歴10:8 しかし彼は長老たちが与えた勧めをすてて、自分と一緒に大きくなって自分に仕えている若者たちに相談して、

2歴10:9 彼らに言った、“あなたがたは、この民がわたしに向かって、‘あなたの父上が、われわれに負わせたくびきを軽くしてください’と言うのに、われわれはなんと返答すればよいと思いますか”ほ

2歴10:10 彼と一緒に大きくなった若者たちは彼に言った、“あなたに向かって、‘あなたの父は、われわれのくびきを重くしたが、あなたは、それをわれわれのために軽くしてください’”と言ったこの民に、こう言いなさい、‘わたしの小指は父の腰よりも太い、

2歴10:11 父はあなたがたに重いくびきを負わせたが、わたしはさらに、あなたがたのくびきを重くしよう。父はむちでああなたがたを懲らしたが、わたしはさそりであなたがたを懲らそう”。

2歴10:12 さてヤラベアムと民は皆、王が、“3日目のわたしのところに来なさい””と言ったとおりに、3日目にレハベアムのところへ行った。

2歴10:13 王は荒々しく彼らに答えたすなわちレハベアム王は長老たちの勧めをすて、

2歴10:14 若者たちの勧めに従い、彼らに告げて言った、“父はあなたがたのくびきを重くしたが、わたしは更にこれを重くしよう。父はむちでああなたがたを懲らしたが、わたしはさそりであなたがたを懲らそう”。

2歴10:15 このように王は民の言うことを聞きいれなかった。これは主が、かつてシロびとアヒヤによって、ネバテの子ヤラベアムに言われた言葉を成就するために、神がなされたのであった。

2歴10:16 イスラエルの人々は皆、王が自分たちの言うことを聞きいれないのを見たので、民は王に答えて言った、“われわれはダビデのうちに何の分があるろうか。われわれはエッサイの子のうちに嗣業がない。イスラエルよ、めいめいの天幕に帰れ。ダビデよ、今あなたの家を見よ”。そして◆

10,16-1,そしてイスラエルは皆彼らの天幕へ去って行った。

2歴10:17 しかしレハベアムはユダの町々に住んでいるイスラエルの人々を治めた。

2歴10:18 レハベアム王は徴募人の監督であったアドラムをつかわしたが、イスラエルの人々が石で彼を撃ち殺したので、レハベアム王は急いで車に乗り、エルサレムに逃げた。

2歴10:19 こうしてイスラエルはダビデの家にそむいて今日に至った。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴11: 歴代志下 第11章

2歴11:1 レハベアムはエルサレムに来て、ユダとベニヤミンの家の者、すなわち、えり抜き軍人18万人を集め、国を取りもどすためにイスラエルと戦おうとしたが、

2歴11:2 主の言葉が神の人シマヤに臨んで言った、

2歴11:3 “ソロモンの子、ユダの王レハベアムおよびユダとベニヤミンにいるすべてのイスラエルの人々に言いなさい、

2歴11:4 '主はこう仰せられる、あなたがたは上ってはならない。あなたがたの兄弟と戦ってはならない。おのおの自分の家に帰りなさい。この事はわたしから出たのである'。それで人々は主の言葉を聞き、ヤラベアムを攻めに行くのをやめて帰った。

2歴11:5 レハベアムはエルサレムに住んで、ユダの防衛の町々を建てた。

2歴11:6 すなわちベツレヘム、エタム、テコア、

2歴11:7 ベテズル、ソコ、アドラム、

2歴11:8 ガテ、マレシヤ、ジフ、

2歴11:9 アドラム、ラキシ、アゼカ、

2歴11:10 ゴラ、アヤロン、およびヘブロン。これらはユダとベニヤミンにあって要害の町々である。

2歴11:11 彼はその要害を堅固にし、これに軍長を置き、糧食と油とぶどう酒をたくわえ、

2歴11:12 またそのすべての町に建てとやりを供えて、これを非常に強化し、そしてユダとベニヤミンを確保した。

2歴11:13 イスラエルの全地の祭司とレビびとは四方の境から来てレハベアムに身を寄せた。

2歴11:14 すなわちレビびとは自分の放牧地と領地を離れてユダとエルサレムに来了。これはヤラベアムとその子らが彼らを排斥して、主の前に祭司の勤めをさせなかったためである。

2歴11:15 ヤラベアムは高き所と、みだらな神と、自分で造った子牛のために自分の祭司を立てた。

2歴11:16 またイスラエルのすべての部族のうちで、すべてその心を傾けて、イスラエルの神、主を求める者は先祖の神、主の犠牲をささげるために、レビびとに従ってエルサレムに来了。

2歴11:17 このように彼らはユダの国を堅くし、ソロモンの子レハベアムを3年の間強くした。彼らは3年の間ダビデとソロモンの道に歩んだからである。

2歴11:18 レハベアムはダビデの子エレモテの娘マハラテを妻にめとった。マハラテはエッサイの子エリアブの娘アビハイルが産んだ者である。

2歴11:19 彼女はエウシ、シマリヤおよびザハムの3子を産んだ。

2歴11:20 彼はまた彼女の後にアブサロムの娘マアカをめとった。マアカはアビヤ、アッタイ、ジザおよびシロミテを産んだ。

2歴11:21 レハベアムはアブサロムの娘マアカをすべての妻とそばめにまさって愛した。彼は妻18人、そばめ60人をめとって、男の子28人と女の子60人をもうけた。

2歴11:22 レハベアムはマアカの子アビヤを立ててかしらとし、その兄弟の長とした。彼はアビヤを王にしようと思ったからである。

2歴11:23 それで王は賢くとり行い、そのむすこたちをことごとく、ユダとベニヤミンの全地方にあるすべての要害の町に散在させ、彼らに糧食を多く与え、また多くの妻を得させた。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴12: 歴代志下 第12章

2歴12:1 レハベアムはその国が堅く立ち、強くなるに及んで、主のおきてを捨てた。イスラエルも皆彼にならった。

2歴12:2 彼らがこのように主に向かって罪を犯したので、レハベアム王の5年にエジプトの王シシャクがエルサレムに攻め上ってきた。

2歴12:3 その戦車は1200、騎兵は6万、また彼に従ってエジプトから来た民、すなわちリビアびと、スキびと、エチオピヤびとは無数であった。

2歴12:4 シシャクはユダの要害の町々を取り、エルサレムに迫って来た。

2歴12:5 そこで預言者シマヤはレハベアムおよびシシャクのゆえに、エルサレムに集まったユダのつかさたちのもとにきて言った、"主はこう仰せられる、'あなたがたはわたしを捨てたので、わたしもあなたがたを捨ててシシャクにわたした'と"。

2歴12:6 そこでイスラエルのつかさたち、および王はへりくだって、"主は正しい"と言った。

2歴12:7 主は彼らのへりくだるのを見られたので、主の言葉がシマヤにのぞんで言った、"彼らがへりくだったから、わたしは彼らを滅ぼさないで、間もなく救を施す。わたしはシシャクの手によって、怒りをエルサレムに注ぐことをしない。"

2歴12:8 しかし彼らはシシャクのしもべになる。これは彼らがわたしに仕えることと、国々の王たちに仕えることとの

相違を知るためである”。

2歴12:9 エジプトの王シシヤクはエルサレムに攻めのぼって、主の宮の宝物と、王の家の宝物とを奪い去った。すなわちそれらをことごとく奪い去り、またソロモンの造った金の盾をも奪い去った。

2歴12:10 それでレハベアム王は、その代りに青銅の盾を造って、王の家の門を守る侍衛長たちの手に渡した。

2歴12:11 王が主の宮にはいるごとに侍衛は来て、これを負い、またこれを侍衛のへやへ持って帰った。

2歴12:12 レハベアムがへりくだったので主の怒りは彼を離れ、彼をことごとく滅ぼそうとはされなかった。またユダの事情もよくなった。

2歴12:13 レハベアム王はエルサレムで自分の地位を確立し、世を治めた。すなわちレハベアムは41歳のとき位につき、17年の間エルサレムで世を治めた。エルサレムは主がその名を置くためにイスラエルのすべての部族のうちから選ばれた町である。彼の母はアンモンの女で、名をナアマ◆

12,13-1,名をナアマといった。

2歴12:14 レハベアムは主を求めることに心を傾けないで、悪い事を行った。レハベアムの始終の行為は、預言者シマヤおよび先見者イドの書にしるされているではないか。レハベアムとヤラベアムとの間には絶えず戦争があった。

2歴12:15 レハベアムはその先祖たちと共に眠って、ダビデの町に葬られ、その子アビヤが彼に代って王となった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴13: 歴代志下 第13章

2歴13:1 ヤラベアム王の台18年ニアビヤがユダの王となった。

2歴13:2 彼は3年の間エルサレムで世を治めた。彼の母はギベアのウリエルの娘で、名をミカヤといった。

2歴13:3 ここにアビヤとヤラベアムとの間に戦争が起り、アビヤは40万の精兵から成る勇敢な軍勢をもって戦いにいで、ヤラベアムも大勇士から鳴る80万の精兵をもって、これに向かって戦いの備えをした。

2歴13:4 時にアビヤはエフライムの山地にあるゼマライムの山の上に立って言った、“ヤラベアムおよびイスラエルの人々よ皆聞け。

2歴13:5 あなたがたはイスラエルの神、主が塩の契約をもってイスラエルの国をながくダビデとその子孫に賜わったことを知らないのか。

2歴13:6 ところがダビデの子ソロモンの家来であるネバテの子ヤラベアムが起って、その主君にそむき、

2歴13:7 また卑しい無頼のともがらが集まって彼にくみし、ソロモンの子レハベアムに敵したが、レハベアムは若く、かつ意思が弱くてこれに当ることができなかった。

2歴13:8 今また、あなたがたは大軍をたのみ、またヤラベアムが造って、あなたがたの神とした金の子牛をたのんで、ダビデの子孫の手にある主の国に敵対しようとしている。

2歴13:9 またあなたがたはアロンの子孫である主の祭司とレビびとを追いだして、他の国々の民がするように祭司を立てたではないか。すなわちだれでも若い雄牛1頭、雄羊7頭を携えてきて、自分を聖別する者は皆あの神でない者の祭司とすることができた。

2歴13:10 しかしわれわれにおいては、主がわれわれの神であって、われわれは彼を捨てない。また主に仕える祭司はアロンの子孫であり、働きをなす者はレビびとである。

2歴13:11 彼らは朝ごと夕ごとに主に燔祭と、こうばしい香をささげ、供えのパンを純金の机の上に供え、また金の燭台とそのともしび皿を整えて、夕ごとにともすのである。このようにわれわれはわれわれの神、主の務を守っているが、あなたがたは彼を捨てた。

2歴13:12 見よ、神はみずからわれわれと共におられて、われわれのかしらとなられ、また、その祭司たちはラッパを吹きならして、あなたがたを攻める。イスラエルの人々よ、あなたがたの先祖の神、主に敵して戦ってはならない。あなたがたは成功しない”。

2歴13:13 ヤラベアムは伏兵を彼らのうしろに回らせたので、彼の軍隊はユダの前にあり、伏兵は彼らのうしろにあった。

2歴13:14 ユダはうしろを見ると、敵が前とうしろとにあったので、主に向かって呼ばわり、祭司たちはラッパを吹いた。

2歴13:15 そこでユダの人々はときをあげた。ユダの人々がときをあげると、神はヤラベアムとイスラエルの人々をアビヤとユダの前に打ち破られたので、

2歴13:16 イスラエルの人々はユダの前から逃げた。神が彼らをユダの手に渡されたので、

2歴13:17 アビヤとその民は、彼らをおびたたく撃ち殺した。イスラエルの殺されて倒れた者は50万人、皆精兵であった。

2歴13:18 このように、この時イスラエルの人々は打ち負かされ、ユダの人々は勝を得た。彼らとその先祖の神、主を頼んだからである。

2歴13:19 アビヤはヤラベアムを追撃して数個の町を彼から取った。すなわちベテルとその村里、エシヤナとその村里、エフロンとその村里である。

2歴13:20 ヤラベアムは、アビヤの世には再び力を得ることができず、主に撃たれて死んだ。

2歴13:21 しかしアビヤは強くなり、妻14人をめとり、むすこ22人、むすめ16人をもうけた。

2歴13:22 アビヤのその他の行為すなわちその行動と言葉は、預言者イドの注釈にしるされている。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴14: 歴代志下 第14章

2歴14:1 アサヤはその先祖たちと共に眠って、ダビデの町に葬られ、その子アサが代って王となった。アサの治世に国は10年の間、穏やかであった。

2歴14:2 アサはその神、主の目に良しと見え、また正しと見えることを行った。

2歴14:3 彼は異なる祭壇と、もろもろの高き所を取り除き、石柱をこわし、アシラ像を切り倒し、

2歴14:4 ユダに命じてその先祖たちの神、主を求めさせ、おきてと戒めとを行わせ、

2歴14:5 ユダのすべての町々から、高き所と香の祭壇とを取り除いた。そして国は彼のもとに穏やかであった。

2歴14:6 彼は国が穏やかであったので、要害を町数個をユダに建てた。また主が彼に平安を賜ったので、この年ごろ戦争がなかった。

2歴14:7 彼はユダに言った、“われわれはこれらの町を建て、その周囲に石がきを築き、やぐらを建て、門と貫の木を設けよう。われわれがわれわれの神、主を求めたので、この国はなおわれわれのものであり、われわれが彼を求めたので、4方において、われわれに平安を賜った”

2歴14:7-1 賜った”。こうして彼らは滞りなく建て終った。

2歴14:8 アサの軍隊はユダから出た者30万人あって、盾とやりをとり、ベニヤミンら出た者28万あって、小盾をとり、弓を引いた。これはみな大勇士であった。

2歴14:9 エチオピアびとゼラが、100万の軍隊と300の戦車を率いて、アレシヤまで攻めてきた。

2歴14:10 アサは出て、これを迎え、マレシヤノゼバタの谷に戦いの備えをした。

2歴14:11 時にアサはその神、主に向かって呼ばわって言った、“主よ、力のある者を助けることも、力のない者を設けることも、あなたにおいては異なることはありません。われわれの神、主よ、われわれをお助けください。われわれはあなたに寄り頼み、あなたの名によってこの大軍に当り◆

14,11-1,大軍に当ります。主よ、あなたはわれわれの神です。どうぞ人をあなたに勝たせないでください”。

2歴14:12 そこで主はアサの前とユダの前でエチオピアびとを撃ち敗られたので、エチオピアびとは逃げ去った。

2歴14:13 アサと彼に従う民は彼らをゲラルまで追撃したので、エチオピアびとは倒れて、行き残った者はひとりもなかった。主と主の軍勢の前に打ち破られたからである。ユダの人々の得たぶんどり者は非常に多かった。

2歴14:14 彼らはまた、ゲラルの周囲の町々をことごとく撃ち破った。主の恐れが彼らの上に臨んだからである。そして彼らはそのすべての町をかすめ奪った。その内に多くの者があったからである。

2歴14:15 また家畜をもっている者の天幕を襲い、多くの羊とらくだを奪い取って、エルサレムに帰った。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴15: 歴代志下 第15章

2歴15:1 得に神の霊がエデデの子アザリヤに臨んだので、

2歴15:2 彼は出ていってアサを迎え、これに言った、“アサおよびユダと紅や民の人々よ、わたしに聞きなさい。あなたがたが主と共にいる間は、主もあなたがたと共におられます。あなたがたが、もし彼を求めらば、彼に会

うでしょう。しかし、彼を捨てるならば、彼もあなたがたを捨◆

15,2-1,あなたがたを捨てられるでしょう。

2歴15:3 そもそも、イスラエルには長い間、まことの神がなく、教をなす祭司もなく、律法もなかった。

2歴15:4 しかし、悩みの時、彼らがイスラエルの神、主に立ち返り、彼を求めたので彼に会った。

2歴15:5 そのころは、出る者にも入る者にも、平安がなく、大いなる騒乱が国々のすべての住民を悩ました。

2歴15:6 国は国に、町は町に打ち砕かれた。彼がもろもろの悩みをもって彼らを苦しめられたからです。

2歴15:7 しかしあなたがたは勇気を出しなさい。手を弱くしてはならない。あなたがたのわざには報いがあるからである”。

2歴15:8 アサはこれらの言葉すなわちオデデの子アザリヤの預言を聞いて勇気を得、憎むべき偶像をユダとベニヤミンの全地から除き、また彼がエフライムの山地で得た町々から除き、主の宮の廊の前にあった主の祭壇を再興した。

2歴15:9 彼はまたユダとベニヤミンの人々およびエフライム、マナセ、シメオンから来て、彼らの間に寄留していた喪nを集めた。その神、主がアサと共におられるのを見て、イスラエルからアサのもとに下った者が多くあったからである。

2歴15:10 彼らはアサの治世15年の3月にエルサレムに集まり、

2歴15:11 携えてきたぶんどり物のうちから牛700頭、羊7000頭をその日主にささげた。

2歴15:12 そして彼らは契約を結び、心をつくし、精神をつくして先祖の神、主を求めることと、

2歴15:13 すべてイスラエルの神、主を求めない者は老幼男女の別なく殺さるべきことを約した。

2歴15:14 そして彼らは大声をあげて叫び、ラッパを吹き、角笛を鳴らして、主に誓いを立てた。

2歴15:15 ユダは皆その誓いを喜んだ。彼らは心をつくして誓いを立て、精神をつくして主を求めたので、主は彼らに会い、四方で彼らに安息を賜わった。

2歴15:16 アサ王の母マアカがアシラのために憎むべき像を造ったので、アサは彼女をおとして太后とせず、その憎むべき像を切り倒して粉々に砕き、キデロン川でそれを焼いた。

2歴15:17 ただし高き所はイスラエルから除かなかったが、アサの心は一生の間、正しかった。

2歴15:18 彼はまた、その父のささげた物および自分のささげた物、すなわち銀、金並びに器物などを主の宮に携え入れた。

2歴15:19 そしてアサの治世の35年までは再び戦争がなかった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴16: 歴代志下 第16章

2歴16:1 アサの治世の36年にイスラエルの王バアシャはユダに攻め上り、ユダの王アサの所にだれをも出入りさせないためにラマを築いた。

2歴16:2 そこでアサは主の宮と王の家の宝蔵から金銀を取り出し、ダマスコに住んでいるスリヤの王ベネハダデに贈って言った、

2歴16:3 “わたしの父とあなたの父の間のように、わたしとあなたの間にも同盟を結びましょう。わたしはあなたに金銀を贈ります。行って、あなたとイスラエルの王バアシャとの同盟を破り、彼をわたしから撤退させてください”。

2歴16:4 ベネハダデはアサ王の言うことを聞き、自分の軍勢の長たちをつかわしてイスラエルの町々を攻め、イヨンとダンとアベル・マイムおよびナフタリのすべての倉の町を奪った。

2歴16:5 バアシャはこれを聞いて、ラマを築くことをやめ、その工事を廃した。

2歴16:6 そこでアサ王はユダの全国の人々を引き連れ、バアシャがラマを立てるために用いた石と木材を運んでこさせ、それをもってゲバとミヅバを建てた。

2歴16:7 そのころ先見者ハナニがユダの王アサのもとに来て言った、“あなたがスリヤの王に寄り頼んで、あなたの神、主に寄り頼まなかったので、スリヤ王の軍勢はあなたの手からのがれてしまった”。

2歴16:8 かのエチオピアびとと、リビアびとは大群で、その戦車と騎兵は、はなはだ多かったではないか。しかしあなたが主に寄り頼んだので、主は彼らをあなたの手にもたせかけた”。

2歴16:9 主の目はあまねく全地を行きめぐり、自分に向かって心を全うする物のために力をあらわされる。今度の事では、あなたは愚かな事をした。ゆえにこの後、あなたに戦争が臨むであろう”。

2歴16:10 するとアサはその先見者を怒って、獄屋に入れた。この事のために激しく彼を怒ったからである。アサ

はまたそのころ民のある者をしえたげた。

2歴16:11 見よ、アサの始終の行為は、ユダとイスラエルの列王の書に示されている。

2歴16:12 アサはその治世の39年に足を病み、その病は激しくなったが、その病の時にも、主を求めないで医者
を求めた。

2歴16:13 アサは先祖たちと共に眠り、その治世41年に死んだ。

2歴16:14 人々は彼が自分のためにダビデの町に掘っておいた墓に葬り、製香の術をもって造った様々の香料
を満たした床に横たえ、彼のためにおびただしく香をたいた。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴17: 列王紀上 第17章

2歴17:1 アサの子ヨシャパテがアサに代って王となり、イスラエルに向かって自分を強くし、

2歴17:2 ユダのすべての堅固な町々に軍隊を置き、またユダの地およびその父アサが取ったエフライムの町々
に守備隊を置いた。

2歴17:3 主はヨシャパテと共におられた。彼がその父ダビデの最初の道に歩いて、バアルに求めず、

2歴17:4 その父の神に求めて、その戒めに歩み、イスラエルの行いにならなかつたからである。

2歴17:5 それゆえ、主は国を彼の手に堅く立てられ、またユダの人々は皆ヨシャパテに贈り物を持ってきた。彼は
大いなる富と誉れとを得た。

2歴17:6 そこで彼は主の道に心を励まし、さらに高き所とアシラ像とをユダから除いた。

2歴17:7 彼はまたその治世の3年に、つかさたちベネハイル、オバデヤ、ゼカリヤ、ネタンエルおよびミカヤをつ
かわしてユダの町々で教えさせ、

2歴17:8 また彼らと共にレビびとのうちからシマヤ、ネタニヤ、ゼバデヤ、アサヘル、セミラモテ、ヨナタン、アドニ
ヤ、トビヤ、トバドニヤをつかわし、またこれらのレビびとと共に祭司エリシャマとヨラムをもつかわした。

2歴17:9 彼らは主の律法の書を携えて、ユダで教をなし、またユダの町々をことごとく巡回して、民の間に教をな
した。

2歴17:10 そこでユダの周囲の国々は皆主を恐れ、ヨシャパテと戦うことをしなかつた。

2歴17:11 また、ペリシテびとのうちで贈り物や、みつぎの銀をヨシャパテの所に持ってくる者があり、またアラビヤ
びとは雄羊7700頭、雄やぎ7700頭を彼に持ってきた。

2歴17:12 こうしてヨシャパテはますます大いになり、ユダの要害および倉の町を建て、

2歴17:13 ユダの町々に多くの軍需品を持ち、またエルサレムに大勇士である軍人たちを持っていた。

2歴17:14 彼らをその氏族によって数えれば次のとおりである。すなわちユダから出た1000人の長のうちでは、
アデナという軍長と彼に従う大勇士30万人、

2歴17:15 その次は軍長ヨハナンと彼に従う者28万人、

2歴17:16 その次は喜んでその身を主にささげた者ジクリの子アマジヤと彼に従う大勇士20万人。

2歴17:17 ベニヤミンら出た者のうちでは、エリアダという大勇士と彼に従う弓および盾を持つ者20万人、

2歴17:18 その次はヨザバデと彼に従う戦いの備えある者18万人である。

2歴17:19 これらは皆王に仕える者たちで、このほかにまたユダ全国の堅固な町々に、王が駐在させた者があつ
た。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴18: 歴代志下 第18章

2歴18:1 ヨシャパテは大いなる富と誉れとをもち、アハブと縁を結んだ。

2歴18:2 彼は数年の後、サマリヤに下って、アハブをおとずれた。アハブは彼と彼に従ってきた民のために羊と
牛を多くほふり、ラモテ・ギレアデと一緒に攻め上ることを彼にすすめた。

2歴18:3 イスラエルの王アハブはユダの王ヨシャパテに言った、“あなたはわたしと一緒にラモテ・ギレアデにせ
めて行きますか”。ヨシャパテは答えた、“わたしはあなたと1つです、わたしの民はあなたの民と1つです。わたしは

あなたと一緒に戦いに臨みましょう”。

2歴18:4 ヨシャパテはまたイスラエルの王に言った、“まず主の言葉を求めなさい”。

2歴18:5 そこでイスラエルの王は預言者400人を集めて彼らに言った、“われわれはラモテ・ギレアデに、戦いに行くべきか、あるいは控えるべきか”。彼らは言った、“上って行きなさい。神はそれを王の手にわたされるでしょう”。

2歴18:6 ヨシャパテは言った、“ほかにわれわれが問うべき主の預言者はここにいませんか”。

2歴18:7 イスラエルの王はヨシャパテに言った、“ほかになおひとりいます。われわれはこの人によって主に問うことができますが、彼はわたしについて良い事を預言したことがなく、宮に悪いことだけを預言するので、わたしは彼を憎みます。その者はイムラの子ミカヤです”。ヨシャパテ◆

18,7-1, ヨシャパテは言った、“王よ、そうは言わないでください”。

2歴18:8 そこでイスラエルの王はひとりの役人を呼んで、“イムラの子ミカヤを急いで連れてきなさい”と言った。

2歴18:9 さてイスラエルの王およびユダの王ヨシャパテは王の衣を着て、サマリヤの門の入口の広場におのおのその玉座に座し、預言者たちは皆その前で預言していた。

2歴18:10 ケナアナの子ゼデキヤは鉄の角を造って言った、“主はこう仰せられます。‘あなたはこれらの角をもってスリヤびとを突いて滅ぼし尽しなさい’”。

2歴18:11 預言者たちは皆そのように預言して言った、“ラモテ・ギレアデに上って行って勝利を得なさい。主はそれを王の手にわたされるでしょう”。

2歴18:12 さてミカヤを呼びに言った使者は彼に言った、“預言者たちは一致して王に良い事を言いました。どうぞ、あなたの言葉も、彼らのひとりの言葉のようにし、良い事を行ってください”。

2歴18:13 ミカヤは言った、“主の生きておられる。わが神の言われることをわたしは申します”。

2歴18:14 彼が王の所へ行くと、王は彼に言った、“ミカヤよ、われわれはラモテ・ギレアデに戦いに行くべきか、あるいは控えるべきか”。彼は言った、“上って行って勝利を得なさい。彼らはあなたの手にわたされるでしょう”。

2歴18:15 しかし王は彼に言った、“幾たびあなたを誓わせたなら、あなたは主の名をもって、ただ真実のみをわたしに告げるだろうか”。

2歴18:16 彼は言った、“わたしはイスラエルが皆牧者のない羊のように山に散っているのを見ました。すると主はこれらの者は主人をもっていない。彼らをそれぞれ安らかに、その家に帰らせよ”と言われました”。

2歴18:17 イスラエルの王はヨシャパテに言った、“わたしはあなたに、彼はわたしについて良い事を預言せず、ただ悪い事だけを預言すると告げたではありませんか”。

2歴18:18 ミカヤは言った、“それだから主の言葉を聞きなさい。わたしは主がその玉座に座し、天の万軍がその右左に立っているのを見たが、

2歴18:19 主は、‘だれがイスラエルの王アハブをいざなって、ラモテ天ギレアデに上らせ、彼を倒れさせるであろうか’と言われた。するとひとりは、こうしようと言い、ひとりは、ああしようと云った。

2歴18:20 その時1つの霊が進み出て、主の前に立ち、‘わたしが彼をいざないまいしょう’と言ったので、主は彼に‘何をもってするか’と言われた。

2歴18:21 彼は‘わたしが出て行って、偽りを言う霊となって、すべての預言者の口に宿りまいしょう’と言った。そこで主は‘おまえは彼をいざなって、それをなし遂げるであろう。出て行って、そうしなさい’と言われた。

2歴18:22 それゆえ、主は偽りを言う霊をこの預言者たちの口に入れ、また主はあなたについて災を告げられたのです”。

2歴18:23 するとケナアナの子ゼデキヤが近寄ってミカヤのほおを打って言った、“主の霊がどの道からわたしを離れて行って、あなたに語りましたが”。

2歴18:24 ミカヤは言った、“あなたが奥の間には行って身を隠す日に見るでしょう”。

2歴18:25 イスラエルの王は言った、“ミカヤを捕え、町のつかさアモンと王の子アシの所へ引いて行って、

2歴18:26 言いなさい、‘王はこう言う、この者を獄屋に入れ、少しばかりのパンと水をもって彼を養い、わたしが勝利を得て帰ってくるのを待て’”。

2歴18:27 ミカヤは言った、“あなたがもし勝利を得て帰るならば、主はわたしによって語られなかったのです”。また彼は言った、“あなたがたすべての民よ、聞きなさい”。

2歴18:28 こうしてイスラエルの王とユダの王ヨシャパテは、ラモテ・ギレアデに上った。

2歴18:29 イスラエルの王はヨシャパテに言った、“わたしは姿を変えて戦いに行きましょう。しかしあなたは王の衣を着けなさい”。イスラエルの王は姿を変えて戦いに行った。

2歴18:30 さて、スリヤの王は、その戦車隊長たちに命じて言った、“あなたがたは小さい者とも、大きい者とも戦ってはならない。ただイスラエルの王とのみ戦いなさい”。

2歴18:31 戦車隊長らはヨシャパテを見たとき、これはきつとイスラエルの王だと思ったので、身を巡らしてこれと

戦おうとした。しかしヨシャパテが呼ばわったので、主はこれを助けられた。すなわち神は敵を彼から離れさせられた。

2歴18:32 戦車隊長らは彼がイスラエルの王でないのを見たので、彼を王ことをやめて引き返した。

2歴18:33 しかし、ひとりの人が、なにごころなく弓を引いて、イスラエルの王の胸当と、くさずりの間を射たので、彼はその車の御者に言った、“わたしは傷を受けたから、車をめぐらして、わたしを軍中から運び出せ”。

2歴18:34 その日戦いは激しくなった。イスラエルの王は車の中に自分をささえて立ち、夕暮までスリヤびとに向かっていたが、日の入るころになって死んだ。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴19: 歴代志下 第19章

2歴19:1 ユダの王ヨシャパテは、つつがなくエルサレムの自分の家に帰った。

2歴19:2 そのとき、先見者ハナニの子エヒウが出てヨシャパテを迎えて言った、“あなたは悪人を助け、主を憎む者を愛してよいのですか。それゆえ錨が主の前から出て、あなたの上に望みます”。

2歴19:3 しかしあなたには、なお良い事もあります。あなたはアシラ像を国の中から除き、心を傾けて神を求められました”。

2歴19:4 ヨシャパテはエルサレムに住んでいたが、また出て、ベエルシバからエフライムの山地まで民の中を巡り、先祖たちの神、主に彼らを導き返した。

2歴19:5 彼はまたユダの國中、すべての堅固な町ごとに裁判人を置いた。

2歴19:6 そして裁判人たちに言った、“あなたがたは自分のする事に気をつけなさい。あなたがたは人のために裁判するのではなく、主のためにするのです。あなたがたが裁判する時には、主はあなたがたと共におられます”。

2歴19:7 だからあなたがたは主を恐れ、慎んで行いなさい。われわれの神、主には不義がなく、人をかたより見ることなく、まいないを取ることもないからです”。

2歴19:8 ヨシャパテはまたレビびと、祭司、およびイスラエルの氏族の長たちを選んでエルサレムに置き、主のために裁判を行い、争議の解決に当らせた。彼らはエルサレムに居住した。

2歴19:9 ヨシャパテは彼らに命じて言った、“あなたがたは主を恐れ、真実と真心とをもって行わなければならない”。

2歴19:10 すべてその町々に住んでいるあなたがたの兄弟たちから、血を流した事または律法と戒め、定めとおきてなどの事について訴えてきたならば、彼らをさとして、主の前に罪を犯させず、怒りがあなたがたと、あなたがたの兄弟たちに臨まないようにしなさい。そのようにすれば、あな ◆

19,10-1,あなたがたは罪を犯すことがないでしょう。

2歴19:11 見よ、祭司長アマリヤは、あなたがたの上において、主のことをすべてつかさどり、イシマエルの子、ユダの家のつかさゼバデヤや王の事をすべてつかさどり、またレビびとはあなたがたの前において役人となります。雄々しく公道しなさい。主は正直な人と共におられます”。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴20: 歴代志下 第20章

2歴20:1 この後モアブびと、アンモンびとおよびメウニびとがヨシャパテと戦おうとせめてきた。

2歴20:2 その時ある人がきて、ヨシャパテに告げて言った、“海のかなたのエドムから大軍があなたに攻めて来ます。見よ、彼らはハザヅン天タマル(すなわちエンゲデ)にいます”。

2歴20:3 そこでヨシャパテは恐れ、主に顔を向けて助けを求め、ユダ全国に断食をふれさせた。

2歴20:4 それでユダはこぞって集まり、主の助けを求めた。すなわちユダのすべての町から人々が来て主を求めた。

2歴20:5 そこでヨシャパテは主の宮の新しい庭の前で、ユダとエルサレムの会衆の中に立って、

2歴20:6 言った、“われわれの先祖の神、主よ、あなたは天にいます神ではありませんか。異邦人のすべての国を治められるではありませんか。あなたの手には力があり、勢いがある、あなたに逆らいうる者はありません”。

2歴20:7 われわれの神よ、あなたはこの国の民をあなたの民イスラエルの前から追い払って、あなたの共アブラハムの子孫に、これを永遠に与えられたではありませんか。

2歴20:8 彼らはここに住み、あなたの名のためにここに聖所を建てて言いました、

2歴20:9 'つるぎ、審判、疫病、ききんなどのわざわいに臨む時、われわれはこの宮の前に立って、あなたの前におり、その悩みの中であなたに呼びわります。すると、あなたは聞いて助けられます。あなたの名はこの宮にあるからです'。

2歴20:10 今アンモン、モアブ、およびセイル山の人々をごらんください。昔イスラエルがエジプトの国から出てきた時、あなたはイスラエルに彼らを侵すことをゆるされなかったため、イスラエルは彼らを離れて、滅ぼしませんでした。

2歴20:11 彼らがわれわれに報いるところをごらんください。彼らは来て、あなたがわれわれに賜ったあなたの領地からわれわれを追い払おうとしています。

2歴20:12 われわれの神よ、あなたは彼らをさばかれないのですか。われわれはこのようにせめて来る大軍に当たる力がなく、またいかになすべきかを知りません。ただ、あなたを仰ぎ望むのみです”。

2歴20:13 ユダの人々はその幼い子、この妻、および子供たちと共に皆主の前に立っていた。

2歴20:14 その時主の霊が会衆の中でアサフの子孫であるレビびとヤハジエルに臨んだ。ヤハジエルはゼカリヤの子、ゼカリヤはベナヤの子、ベナヤはエイエルの子、エイエルはマツニヤの子である。

2歴20:15 ヤハジエルは言った、'ユダの人々、エルサレムの住民、およびヨシャパテ王よ、聞きなさい。主はあなたがたにこう仰せられる、'この大軍のために恐れてはならない。おののいてはならない。これはあなたがたの戦いではなく、主の戦いだからである。

2歴20:16 あす、彼らの所へ攻め下りなさい。見よ、彼らはジヅの坂から上って来る。あなたがたはエルエルの野の東、谷の端でこれに会うであろう。

2歴20:17 この戦いには、あなたがたは戦うに及ばない。ユダおよびエルサレムよ、あなたがたは進み出て立ち、あなたがたと共におられる主の勝利を見なさい。恐れてはならない。おののいてはならない。あす、彼らの所に攻めて行きなさい。主はあなたがたと共におられるからである”。

2歴20:18 ヨシャパテは地にひれ伏した。ユダの人々およびエルサレムの民も主の前に伏して、主を拝した。

2歴20:19 その時コハテびとの子孫、およびコラびとの子孫であるエビびとが立ち上がり、大声をあげてイスラエルの神、主をさんびした。

2歴20:20 彼らは朝早く起きてテコアの野に出て行った。その出て行くとき、ヨシャパテは立って言った、"ユダの人々およびエルサレムの民よ、わたしに聞きなさい。あなたがたの神、主を信じなさい。そうすればあなたがたは堅く立つことができる。主の預言者を信じなさい。そうすればあ

20:20-1、そうすればあなたがたは成功するでしょう”。

2歴20:21 彼はまた民と相談して人々を任命し、聖なる飾りをつけて軍勢の前に進ませ、主に向かって歌をうたい、かつさんびさせ、"主に感謝せよ、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない”と言わせた。

2歴20:22 そして彼らが歌をうたい、さんびし初めた時、主は伏兵を助け、かのユダにせめてきたアンモン、モアブ、セイル山の人々に向かわせられたので、彼らは打ち敗られた。

2歴20:23 すなわちアンモンとモアブの人々は立ち上がって、セイル山の民に敵し、彼らを殺して全く滅ぼしたが、セイルの民を殺し尽すに及んで、彼らもおのおの互に助けて滅ぼしあつた。

2歴20:24 ユダの人々は野の物見やぐらへ行って、かの群衆を見たが、地に倒れた死体だけであつて、ひとりものがれた者はなかつた。

2歴20:25 それでヨシャパテとその民は彼らの者を奪うために来て見ると、多数の家畜、財宝、衣服および宝石などおびただしくあつたので、おのおのそれをはぎ取つたが、運びきれないほどたくさんです、かすめ取るに3日もかかつた。それほど物が多かつたのである。

2歴20:26 4日目には彼らはベラカの谷に集まり、その所で主を祝福した。それでその所の名を今日までベラカの谷と呼んでいる。

2歴20:27 そしてユダとエルサレムの人々は皆ヨシャパテを先に立て、喜んでエルサレムに帰つてきた。主が彼らにその敵のことによって喜びを与えられたからである。

2歴20:28 すなわち彼らは立琴、琴およびラッパをもってエルサレムの主の宮に来た。

2歴20:29 そしてもろもろの国の民は主がイスラエルの敵と戦われたことを聞いて神を恐れた。

2歴20:30 こうして神が4方に安息を賜つたので、ヨシャパテの国は穏やかであつた。

2歴20:31 このようにヨシャパテはユダを治めた。彼は35歳の時、王となり、25年の間エルサレムで世を治めた。彼の母の名はアズバといつてシルヒの娘である。

2歴20:32 ヨシャパテは父アサの道を歩んでそれを離れず、主の目に正しいと見られることを行つた。

2歴20:33 しかし高き所は除かず、また民はその先祖の神に心を傾けなかった。

2歴20:34 ヨシャパテのその他の始終の行為は、ハナニの子エヒウの書にしるされ、イスラエルに列王の書に載せられてある。

2歴20:35 この後ユダの王ヨシャパテはイスラエルの王アハジヤと相結んだ。アハジヤは悪を行った。ヨシャパテはタルシシへ行く船を造るためにアハジヤと相結び、エジオン・ゲベルで一緒に船数隻を造った。

2歴20:36 その時マレシヤのドダワの子エリエゼルはヨシャパテに向かって預言し、“あなたはアハジヤと相結んだので、主はあなたの造った物をこわされます”と言ったが、その船は難破して、タルシシへ行くことができなかった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴21: 歴代志下 第21章

2歴21:1 ヨシャパテは先祖たちと共に眠り、先祖たちと共にダビデの町に葬られ、その子ヨラムが代って王となった。

2歴21:2 ヨシャパテの子であるその兄弟たちはアザリヤ、エヒエル、ゼカリヤ、アザリヤ、ミカエルおよびシパテヤで、皆ユダの王ヨシャパテの子たちであった。

2歴21:3 その父は彼らに金、銀、宝物の賜物を多く与え、またユダの要害の町々を与えたが、ヨラムは長子なので、国はヨラムに与えた。

2歴21:4 ヨラムはその父の位に登って強くなった時、その兄弟たちをことごとくつぎにかけて殺し、またユダのつかさたち数人を殺した。

2歴21:5 ヨラムは位についた時32歳で、エルサレムで8年の間世を治めた。

2歴21:6 彼はアハブの家がしたようにイスラエルの王たちの道に歩んだ。アハブの娘を妻としたからである。このように彼は主の目の前に悪をおこなったが、

2歴21:7 主はさきにダビデと結ばれた契約のゆえに、また彼とその子孫とにながく、ともしびを与える約束されたことによって、ダビデの家を滅ぼすことを好まれなかった。

2歴21:8 ヨラムお世に得度無がそむいて、ユダの支配を脱し、みずから王を建てたので、

2歴21:9 ヨラムはその将校たち、およびすべての戦車を従えて渡って行き、夜のうちに立ち上がって、自分を包囲しているエドムその戦車の隊長たちを撃った。

2歴21:10 エドムはこのようにそむいてユダの支配を脱し、今日に至っている。そのころリブナもまたそむいてユダの支配を脱した。ヨラムが先祖たちの神、主を捨てたからである。

2歴21:11 彼はまたユダの山地に高き所を造って、エルサレムの民に姦淫を行わせ、ユダを惑わした。

2歴21:12 その時預言者エリヤあ次のような1通の手紙がヨラムのもとに来た、“あなたの先祖ダビデの神、主はこう仰せられる、‘あなたは父ヨシャパテの道に歩まず、またユダの王アサの道に歩まないで、

2歴21:13 イスラエルの王たちの道に歩み、エダとエルサレムの民に、かのアハブの家がイスラエルに姦淫を行わせたように、姦淫を行わせ、またあなたの父の家の物、であなたにまさっているあなたの兄弟たちを殺したゆえ、

2歴21:14 主は大いなる災をもってあなたの民と子供と妻たちと、すべての所有を撃たれる。

2歴21:15 あなたはまた内臓の病気にかかって大病になり、それが日に日に重くなって、ついに内臓が出るようになる”。

2歴21:16 その時、主はヨラムに対してエチオピアびとの近くに住んでいるペリシテびととアラビヤびとの霊を振り起されたので、

2歴21:17 彼らはユダに攻め上って、これを侵し、王の家にある貨財をことごとく奪い去り、またヨラムの子供と妻たちをも奪い去ったので、末の子エホアハズのほかには、ひとりも残った者がなかった。

2歴21:18 このもろもろの事後、主は彼を撃って内臓にいえがたい病気を起させられた。

2歴21:19 時がたって、2年の終わりになり、その内臓が病気のために出て、重い病苦によって死んだ。民は彼の先祖のために香をたいたように、彼のために香をたかなかった。

2歴21:20 ヨラムはその位についた時32歳で、8年の間エルサレムで世を治め、ついに死んだ。ひとりも彼を惜しむ者がなかった。人々は彼をダビデの町に葬ったが、王たちの墓にはなかつた。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴22: 歴代志下 第22章

2歴22:1 エルサレムの民はヨラムの末の子アハジヤを彼の代りに王とした。かつてアラビヤびとと一緒に陣営にせめてきた1隊の者が上の子たちをことごとく殺したので、ユダの王ヨラムの子アハジヤが王となったのである。

2歴22:2 アハジヤは王となった時42歳で、エルサレムで1年の間世を治めた。その母はオムリの娘で名をアタリヤといった。

2歴22:3 アハジヤもまたアハブの家の道に歩んだ。その母が彼の相談相手となって悪を行わせたからである。

2歴22:4 彼はまたアハブの家がしたように主の目の前から悪を行った。すなわちその父が死んだ後、アハブの家の者がその相談役となったので、彼はついに自分を滅ぼすに至った。

2歴22:5 アハジヤはまた彼らの勧めに従って、イスラエルの王アハブの子ヨラムと共にラモテ・ギレアデへ行き、スリヤの王ハザエルと戦ったが、スリヤびとはヨラムに傷を負わせた。

2歴22:6 そこでヨラムはスリヤの王ハザエルと戦った時、ラマで負ったその傷をいやすためにエズレルに帰った。ユダの王ヨラムの子アハジヤはアハブの子ヨラムが病気なのでエズレルに下ってこれを見張った。

2歴22:7 アハジヤがヨラムを見舞いに行ったことによって滅びに至ったのは神によって定められたことである。すなわち彼がそこに着いた時、ヨラムと一緒に出て、ニムシの子エヒウを迎えた。エヒウは主がアハブの家を断ち滅ぼすために油を注がれた者である。

2歴22:8 エヒウはアハブの家を罰するにあたって、ユダのつかさたち、およびアハジヤの兄弟たちの子らがアハジヤに仕えているのを見たので、彼らをも殺した。

2歴22:9 アハジヤはサマリヤに隠れていたが、エヒウが彼を捜し求めたので、人々は彼を捕え、エヒウのもとに引いてきて、彼を殺した。ただし“彼は心をつくして主を求めたヨシャパテの子である”と人々は言ったのでこれを葬った。こうしてアハジヤの家には国を総べ治めうる者がなくな

22,9-1,者がなくなった。

2歴22:10 アハジヤの母アタリヤは自分の子の死んだのを見て、立ってユダの家の往時をことごとく滅ぼしたが、

2歴22:11 王の娘エホシバはアハジヤの子ヨアシを王の子たちの殺される者のうちから盗み取り、彼とそのうばを寝室においた。こうしてエホシバがヨアシをアタリヤから隠したので、アタリヤはヨアシを殺さなかった。エホシバはヨラム王の娘、またアハジヤの妹で、祭司エホヤダの妻である

22,11-1,エホヤダの妻である。

2歴22:12 こうしてヨアシは神の宮に隠れて彼らと共にいること6年、その間アタリヤが国を治めた。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴23: 歴代志下 第23章

2歴23:1 第7年になって、エホヤダは勇気をだしてエロハムの子アザリヤ、ヨハナンの子イシメエル、オベデの子アザリヤ、アダヤの子マアセヤ、ジクリの子エリシャパテなどの100人の長たちを招いて契約を結ばせた。

2歴23:2 そこで彼らはユダを行きめぐって、ユダのすべての町からレビびとを集め、またイスラエルの氏族の長たちを集めて、エルサレムにきた。

2歴23:3 そしてその会衆は皆神の宮で王と契約を結んだ。その時エホヤダは彼らに言った、“主がダビデの子孫のことについて言われたように、王の子が位につくべきです。

2歴23:4 あなたがたのなすべき事はこれです。すなわちあなたがた祭司およびレビびとの安息日にはいつて来る者の、3分の1は門を守る者となり、

2歴23:5 3分の1は王の家におり、3分の1は礎の門におり、民は皆、主の宮の庭にいなさい。

2歴23:6 祭司と、勤めをするレビびとのほかは、だれも主の宮に、はいつてはならない。彼らは聖なる者であるから、はいることができる。民は皆、主の命令を守らなければならない。

2歴23:7 レビびとはめいめい手に武器をとって王のまわりに立たなければならない。宮にはいる者をすべて殺しなさい。あなたがたは王がはいる時にも出る時にも、王と共にいなさい”。

2歴23:8 そこでレビびとおよびユダの人々は、祭司エホヤダがすべて命じたように行い、めいめいその組の者で、安息日にはいつて来るべき者と、安息日に出て行くべき者を率いていた。祭司エホヤダが組の者を去らせなかったからである。

2歴23:9 また祭司エホヤダは、神の宮にあるダビデ王のやりおよび大盾、小盾を100人の長たちに渡し、
2歴23:10 また王を守るために、すべての民にめいめい手に武器をとらせ、宮の南側から北側にわたって、祭壇と宮に沿って立たせた。
2歴23:11 こうして王の小を連れ出して、これに冠をいただきせ、あかしの書を渡して王となし、エホヤダおよびその小たちが彼に油を注いだ。そして“王万歳”と言った。
2歴23:12 アタリヤは民の走りながら王をほめる事を聞いたので、主の宮に入り、民の所へ行って、
2歴23:13 見ると、王は入口で柱のかたわらに立ち、王のかたわらには將軍たちとラッパ手が立っており、また国の民は皆喜んでラッパを吹き、歌をうたう者は楽器をもってさんびしていたので、アタリヤは衣を裂いて“反逆だ、反逆だ”と叫んだ。
2歴23:14 その時エホヤダは軍勢を統率する100人の長たちを呼び出し、“列の間から彼女を連れ出せ、彼女に従う者をつるぎで殺せ”と言った。祭司が彼女を主の宮で殺してはならないと言ったからである。
2歴23:15 そこで人々は彼女に手をかけ、王の家の馬の門の入口まで連れて行き、その所で彼女を殺した。
2歴23:16 エホヤダは自分とすべての民と王との間に、彼らは皆、主の民となるとの契約を結んだ。
2歴23:17 そこですべての民はバアルの家に行って、それをこわし、その祭壇とその像とを打ち砕き、バアルの祭司マツタンを祭壇の前で殺した。
2歴23:18 エホヤダはまた主の宮の守衛を、祭司とレビびとの指揮のもとに置いた。このレビびとは昔ダビデがモーセの律法にしるされているように、喜びと歌とをもって主に燔祭をささげるために、主の宮に配置したものであって、今そのダビデの例にならったものである。
2歴23:19 彼はまた主の宮のもろもろの門に門衛を置き、汚れた者は何によって汚れた者でも、はいらせないようにした。
2歴23:20 こうしてエホヤダは100人の長たち、貴族たち、民のつかさたちおよび国のすべての民を率いて、主の宮から王を連れ下り、上の門から王の家に進み、王を国の位につかせた。
2歴23:21 国の民は皆喜んだ。町はアタリヤがつるぎで殺された後、穏やかであった。
2歴***:
2歴***:
2歴***:
2歴***:
2歴***:
2歴24: 歴代志下 第24章
2歴24:1 ヨアシは位についた時7歳で、エルサレムで40年の間、世を治めた。彼の母はベエルシバから出た者で名をデビアといった。
2歴24:2 ヨアシは祭司エホヤダの世にある日の間は常に主の良しと見られることを行なった。
2歴24:3 エホヤダは彼のためにふたりの妻をめとり、彼に男子と女子が生まれた。
2歴24:4 この後ヨアシは主の宮を修繕しようと志して、
2歴24:5 祭司とレビびとを集めて言った、“ユダの町々へ行って、あなたがたの神の宮を年々修繕する資金をすべてのイスラエルびとから集めなさい。その事を急いでしなさい”。ところがレビびとはこれを急いでしなかった。
2歴24:6 それで王はかしらであるエホヤダを召して言った、“あなたはなぜレビびとに求めて、主のしもべモーセがあかしの幕屋のためにイスラエルの会衆に課した税金をユダとエルサレムから取り立てさせないのか”。
2歴24:7 かの悪い女アタリヤの子らが神の宮に侵入して主の宮のもろもろの奉納物を取り、バアルのために用いたからである。
2歴24:8 そこで王は命じて1個の箱を造らせ、これを主の宮の門の外に置き、
2歴24:9 ユダとエルサレムにふれて、神のしもべモーセが荒野でイスラエルに課した税金を主のために持ってこさせた。
2歴24:10 すべてのつかさたちおよびすべての民は皆喜んでその税金を持って来て、その箱に投げ入れ他ので、ついに箱はいっぱいになった。
2歴24:11 レビびとはその箱に兼ねが多くあるのを見て、王の役人の所へ持って行くと、王の書記と祭司長の下役とが来て、その箱を傾け、これを取ってもとの所に返した。彼らは日々このようにして兼ねをおびたく集めた。
2歴24:12 王とエホヤダはこれを主の宮の工事をなす者に渡し、石工および木工を雇って、主の宮を修繕させ、また鉄工および青銅工を雇って、主の宮を修復させた。
2歴24:13 工人たちは働いたので、修復の工事は彼らの手によってはかどり、神の宮を、もとの状態に復し、これを堅固にした。
2歴24:14 それをなし終ったとき、余った兼ねを王とエホヤダの前に持って来たので、それをもって主お宮のため

に器物を造った。すなわち勤めの器、燔祭の器、香の皿、および金銀の器を造った。エホヤダの世にある日の間は、絶えず主の宮で燔祭をささげた。

2歴24:15 しかしエホヤダは年老い、日が満ちて死んだ。その死んだ時は130歳であった。

2歴24:16 人々は彼をダビデの町で王たちの中に葬った。彼はイスラエルにおいて神とその宮とに良い事を行ったからである。

2歴24:17 エホヤダの死んだ後、ユダのつかさたちが来て、うやうやしく王に敬意を表した。王は彼らに聞き従った。

2歴24:18 彼らはその先祖の神、主の宮を捨てて、アシラ像および偶像に仕えたので、そのとがのために、怒りがユダとエルサレムに臨んだ。

2歴24:19 主は彼らをご自分に引き返そうとして、預言者たちをつかわし、彼らにむかってあかしをさせられたが、耳を傾けなかった。

2歴24:20 そこで神の霊が祭司エホヤダの子ゼカリヤに臨んだので、彼は民の前に立ち上がって言った、“神はこう仰せられる、‘あなたがたが主の戒めを犯して、災を招くのはどういふわけであるか。あなたがたが主を捨てたために、主もあなたがたを捨てられたのである’”。

2歴24:21 しかし人々は彼を害しようと計り、王の命によって、石をもって彼を主の宮の庭で打ち殺した。

2歴24:22 このようにヨアシは王はゼカリヤの父エホヤダが自分に施した恵を思わず、その子を殺した。ゼカリヤは死ぬ時、“どうぞ主がこれを見そなわして罰せられるように”と言った。

2歴24:23 年の終りになって、スリヤの軍勢はヨアシにむかって攻め上り、ユダとエルサレムに来て、罪のつかさたちをことごとく民のうちから滅ぼし、そのぶんどり物を皆ダマスコの王に送った。

2歴24:24 この時、スリヤの軍勢は少数で来たのであるが、主は大軍を彼らの手に渡された。これは彼らがその先祖の神、主を捨てたためである。このように彼らはヨアシを罰した。

2歴24:25 スリヤ軍はヨアシに大傷を負わせて捨て去ったが、ヨアシの家来たちは祭司エホヤダの子の血のために、党を結んで彼に背き、彼を床の上に殺して、至なせた。人々は彼をダビデの町に葬ったが、王の計には葬らなかった。

2歴24:26 党を結んで彼にそむいた者は、アンモンの女シメアテの子ザバデおよびモアブの女シムリテの子ヨザバデであった。

2歴24:27 ヨアシの子らのこと、ヨアシに対する多くの預言者および神の宮の修理の事などは、列王の書の注釈にしるされている。ヨアシの子アマジヤが彼に代って王となった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴25: 歴代志下 第25章

2歴25:1 アマジヤは王となった時25歳で、29年の間エルサレムで世を治めた。その母はエルサレムの者で、名をエホアダンと叫んだ。

2歴25:2 アマジヤは主の良しと見られることを行なったが、全き心をもってではなかった。

2歴25:3 彼は、国が彼の手のうちに強くなったとき、父ヨアシ王を殺害した家来たちを殺した。

2歴25:4 しかしその子供たちは殺さなかった。これをモーセの律法の書にしるされている所に従ったのであって、そこに主は命じて、“父は子のゆえに殺されるべきではない。子は父のゆえに殺されるべきではない。おのおの自分の罪のゆえに殺されるべきである”と言われている。

2歴25:5 アマジヤはユダの人々を集め、その氏族に従って、1000人の長に付属させ、または100人の長に付属させた。ユダとベニヤミンのすべてに行なった。そして20歳以上の者を数えたところ、やりと盾をとって戦いに望む精兵30万人を得た。

2歴25:6 彼はまた銀100タラントをもってイスラエルから大勇士10万人を雇った。

2歴25:7 その時、神の人が彼の所に来て言った、“王よ、イスラエルの軍勢をあなたと共に行かせてはいけません。主はイスラエルびと、すなわちエフライムのすべての人々とは共におられないからです。

2歴25:8 もしあなたがこのような方法で戦いに強くなろうと思うならば、神はあなたを敵の前に倒されるでしょう。神には助ける力があり、また倒す力があるからです”。

2歴25:9 アマジヤは神の人に言った、“それではわたしがイスラエルの軍隊に与えた100タラントをどうしましょうか”。神の人は答えた、“主はそれよりも多いものをあなたにお与えにすることができます”。

2歴25:10 そこでアマジヤはエフライムから来て自分に加わった軍隊を分離して帰らせたので、彼らはユダに対し

て激しい怒りを発し、火のように怒って自分の所に帰った。

2歴25:11 しかしアマジヤは勇気を出し、その民を率いて塩の谷へ行き、セイルびと1万人を打ち殺した。

2歴25:12 またユダの人々はこのほかに1万をいけどり、岩の頂に引いて行って岩の頂から彼らを投げ落とししたので、皆こなごなに砕けた。

2歴25:13 ところがアマジヤが自分と共に戦いに行かせないで帰してやった兵卒らが、サマリヤからベテホロンまでの、ユダの町々を襲って3000人を殺し、多くの物を奪い取った。

2歴25:14 アマジヤはエドムびとを殺して帰った時、セイルびとの神々を携えてきて、これを安置して自分の神とし、これを礼拝し、これにささげ物をなした。

2歴25:15 それゆえ、主はアマジヤに向かって怒りを発し、預言者を彼につかわして言わせられた、“かの民の神々は自分の民をあなたの手から救うことができなかつたのに、あなたはどのようにそれを求めたのか”。

2歴25:16 彼がこう王に語ると、王は彼に、“われわれはあなたを王の顧問にしたのですか。やめなさい。あなたはどのように殺されようとするのですか”と言ったので、預言者はやめて言った、“あなたはこの事を行って、わたしのいさめを聞きいれないゆえ、神はあなたを滅ぼそうと定められ◆

25,16-1,定められたことをわたしは知っています”。

2歴25:17 そこでユダの王アマジヤは協議の結果、人をエヒウの子エホアハズの子であるイスラエルの王ヨアシにつかわし、“さあ、われわれは互に顔をあわせよう”と言わせたところ、

2歴25:18 イスラエルの王ヨアシはユダの王アマジヤに言い送った、“レバノンのいばらが、かつてレバノンの香柏に、あなたの娘をわたしのむすこの妻に与えよ”と言い送ったところが、レバノンの野獣が通りかかって、そのいばらを踏み倒した。

2歴25:19 あなたは‘見よわたしはエドムを撃ち破った’と言って心に誇り高ぶっている。しかしあなたは自分の家にとどまっていなさい。どうしてあなたは災を引き起こして、自分もユダも共に滅びようとするのか”。

2歴25:20 しかしアマジヤは聞きいれなかつた。これは神から出たのであって、彼らがエドムの神々を求めたので神は彼らを敵の手に渡されるためである。

2歴25:21 そこでイスラエルの王ヨアシは上って来て、ユダのベテシメシでユダの王アマジヤと顔を合わせたが、

2歴25:22 ユダはイスラエルに打ち破られ、おのおのその天幕に逃げ帰った。

2歴25:23 その時イスラエルの王ヨアシはエホアハズの子ヨアシの子であるユダの王アマジヤをベテシメシで捕えて、エルサレムに引いて行き、エルサレムの城壁をエフライム門から、隅の門まで400キュビトほどをこわし、

2歴25:24 また神の宮のうちで、オベデエドムが守っていたすべての金銀およびもろもろの器ものならびに王の家の財産を奪い、また人質をとって、サマリヤに帰った。

2歴25:25 ユダの王ヨアシの子アマジヤはイスラエルの王エホアハズの子ヨアシが死んで後なお15年生ながらえた。

2歴25:26 アマジヤのその他の始終の行為は、ユダとイスラエルの列王の書にしるされているのではないか。

2歴25:27 アマジヤがそむいて、主に従わなくなつた時から、人々はエルサレムにおいて党を結び、彼に敵したので、彼はラキシに逃げて行つたが、その人々はラキシに人をやって、彼をその所で殺させた。

2歴25:28 人々はこれを馬に負わせて持ってきて、ユダの町でその先祖たちと共にこれを葬った。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴26: 歴代志下 第26章

2歴26:1 そこでユダの民は皆ウジヤをとって王となし、その父アマジヤに代らせた。時に16歳であった。

2歴26:2 彼はエラテを建てて、これをふたたびユダのものにした。これはかの王がその先祖たちと共に眠つた後であった。

2歴26:3 ウジヤは王となつた時16歳で、エルサレムで52年の間世を治めた。その母はエルサレムの者で名をエコリヤといった。

2歴26:4 ウジヤは父アマジヤがしたように、すべての主の良しと見られることを行つた。

2歴26:5 彼は神を恐れることを自分に教えたゼカリヤの世にある日の間、神を求めることに努めた。彼が主を求めた間、神は彼を榮えさせられた。

2歴26:6 彼は出てペリシテびとと戦い、ガテの城壁、ヤブネの城壁およびアシドドの城壁をくずし、アシドドの地とペリシテびとのなかに町を建てた。

2歴26:7 神は彼を助けてペリシテびとと、グルバアルに住むアラビヤびとおよびメウニびとを攻め撃たせられた。

2歴26:8 アンモンびとはウジヤにみつぎを納めた。ウジヤは非常に強くなったので、その名はエジプトの入口までも広まった。

2歴26:9 ウジヤはまたエルサレムの隅の門、谷の門および城壁の曲りがどにやぐらを建て、また多くの水ためを掘った。彼は平野にも平地にもたくさん家畜をもっていたからである。彼はまた農事を好んだので、山々および肥えた畑には農夫とぶどうをつくる者をもっていた。

2歴26:10 氏やはまたよく戦う1軍団を持っていた。彼らは書記エイエルと、つかさまアセヤによって調べた数に従って組々に分かれ、皆王の軍長のひとりハナニヤの指揮下にあった。

2歴26:11 その氏族の長である大勇士の数は合わせて2600人であった。

2歴26:12 その指揮下にある軍勢は30万7千人で、皆大いなる力をもって戦い、王を助けて敵に当たった。

2歴26:13 ウジヤはその全軍のために盾、やり、かぶと、よろい、弓および石投げの石を備えた。

2歴26:14 彼はまたエルサレムで技術者の考案した機械を造って、これをやぐらおよび城壁のすみずみにすえ、これをもって矢および大石を射出した。こうして彼の名声は遠くまで広まった。彼が驚くほど神の助けを得て強くなったからである。

2歴26:15 ところが彼は強くなるに及んで、その心に高ぶり、ついに自分を滅ぼすに至った。すなわち彼はその神、主にむかって罪を犯し、主の宮にはいって香の祭壇の上に香をたこうとした。

2歴26:16 その時、祭司アザリヤは主の祭司である勇士80人を率いて、彼のあとに従ってはいり、

2歴26:17 ウジヤ王を引き止めて言った、“ウジヤよ、主に香をたくことはあなたのなすべきことではなく、ただアロンの子孫で、香をたくために清められた祭司たちのすることです。すぐ聖所から出なさい。あなたは罪を犯しました。あなたは主なる神から栄えを得ることはできません”。

2歴26:18 するとウジヤは怒りを発し、香炉を手にとって香をたこうとしたが、彼が祭司に向かって怒りを発している間に、らい病がその額に起った。時に彼は主の宮で祭司たちの前、香の祭壇のかたわらにいた。

2歴26:19 祭司の長アザリヤおよびすべての祭司たちが彼を見ると、彼の額にらい病が生じていたので、急いで彼をそこから追い出した。彼侍臣もまた主に撃たれたことを知って、急いで出て行った。

2歴26:20 ウジヤ王は、死ぬ日までらい病人であった。彼はらい病人であったので、離れ殿に住んだ。主の宮から断たれたからである。その子ヨタムが王の家をつかさどり、国の民を治めた。

2歴26:21 ウジヤのその他の始終の行為は、アモツの子預言者イザヤがこれを書きしるした。

2歴26:22 ウジヤは先祖たちと共に眠ったので、人々は“彼はらい病人である”と言って、王たちの墓に連なる墓地に、その先祖たちと共に葬った。その子ヨタムが彼に代って王となった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴27: 歴代志下 第27章

2歴27:1 ヨタムは王となった時25歳で、16年の間エルサレムで世を治めた。その母はザドクの娘で名をエルシャといった。

2歴27:2 ヨタムはその父ウジヤがしたように主の良しと見られることをした。しかし主の宮にははいらなかつた。民はなお悪を行った。

2歴27:3 彼は主の宮の上の門を盾、オペルの石がきを多く築き増し、

2歴27:4 またユダの山地に数個の町を建て、林の間に城とやぐらを築いた。

2歴27:5 彼はアンモンびとの王と戦ってこれに勝った。その年アンモンの人々は銀100タラント、小麦1万コル、大麦1万コルを彼に贈った。アンモンの人々は2年にも3年にも同じように彼に治めた。

2歴27:6 ヨタムはその神、主の前にその行いを堅くしたので力ある者となった。

2歴27:7 ヨタムのその他の行為、そのすべての戦いおよびその行いなどは、イスラエルとユダの列王の書にしるされている。

2歴27:8 彼は王となった時、25歳で、16年の間エルサレムで世を治めた。

2歴27:9 ヨタムはその先祖と共に眠ったので、ダビデの町に葬られ、その子アハズが彼に代って王となった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴28: 歴代志下 第28章

2歴28:1 アハズは王となった時20歳で、16年の間エルサレムで世を治めたが、その父ダビデとは違って、主の良しと見られることを行わず、

2歴28:2 イスラエルの王たちの道に歩み、またもろもろのバアルのために鑄た像を造り、

2歴28:3 ベンヒンノムの谷で香をたき、その子らを火に焼いて供え物とするなど、主がイスラエルの人々の前から追い払われた異邦人の憎むべき行いにならない、

2歴28:4 また高き所の上、丘の上、すべての青木の下で犠牲をささげ、香をたいた。

2歴28:5 それゆえ、その神、主は彼をスリヤの王の手に渡されたので、スリヤびとは彼を打ち破り、その民を多く捕虜として、ダマスコに引いて行った。彼はまたイスラエルの王の手に渡されたので、イスラエルの王も彼を撃ち破って大いに殺した。

2歴28:6 すなわちレマリヤの子ペカはユダで1日のうちに12万人を殺した。皆勇士であった。これは彼らがその先祖の神、主を捨てたためである。

2歴28:7 その時、エフライムの勇士ジクリという者が王の子マアヒヤ、宮内大臣アズリカムおよび王に次ぐ人エルカナを殺した。

2歴28:8 イスラエルの人々はついにその兄弟のうちから婦人ならびに男子、女子など20万人を捕虜とし、また多くのぶんどり物を取り、そのぶんどり物をサマリヤに持って行った。

2歴28:9 その時そこに名をオデデという主の預言者があって、サマリヤに帰って来た軍勢の前に進み出て言った、"見よ、あなたがたの先祖の神、主はユダを怒って、これをあなたがたの手に渡されたが、あなたがたは天に達するほどの怒りをもってこれを殺した。"

2歴28:10 そればかりでなく、あなたがたは今、ユダとエルサレムの人々を従わせて、自分の男女の奴隷にしようと思っている。しかしあなたがた侍臣もまた、あなたがたの神、主の罪を犯しているではないか。

2歴28:11 いまわたしに聞き、あなたがたがその兄弟のうちから捕えて来た捕虜を放ち帰らせなさい。主の激しい鎗があなたがたの上に臨んでいるからです。"

2歴28:12 そこでエフライムびとのおもなる人々、すなわちヨハナンの子アザリヤ、メシモテの子ベレキヤ、シャルムの子ヒゼキヤ、ハデライの子アマサらもまた、戦争から帰った物どもに向かって立ちあがり、

2歴28:13 彼らに言った、"捕虜をここに引き入れてはならない。あなたがたはわたしどもに主に対するとがを得させて、さらにわれわれの罪とがを増し加えようとしている。われわれのとがは大きく、激しい怒りがイスラエルの上に臨んでいるからです。"

2歴28:14 そこで兵卒どもがその捕虜とぶんどり物をつかさたちと全会衆の前に捨てておいたので、

2歴28:15 前に名をあげた人々が立って捕虜を受け取り、ぶんどり物のうちから衣服をとって、裸の物に着せ、また、ぐつをはかせ、食い飲みさせ、油を注ぎなどし、その弱い物を皆ろばに乗せ、こうして彼らをしゅうろの町エリコに連れて行って、その兄弟を渡し、そしてサマリヤに

28,15-1,そしてサマリヤに帰って来た。

2歴28:16 その時アハズ王は人をアッシリヤの王につかわして助けを求めさせた。

2歴28:17 エドムびとが再び侵入してユダを撃ち、民を捕え去ったからである。

2歴28:18 ペリシテびともまた平野の町々およびユダのネゲブの町々を侵して、ベテシメシ、アヤロン、ゲデロテおよびソコとその村里、テムナとその村里、ギムゾとその村サトを取って、そこに住んだ。

2歴28:19 これはイスラエルの王アハズのゆえに、主がユダを低くされたのであって、彼がユダのうちにみだらなことを行い、主に向かって大いに罪を侵したからである。

2歴28:20 アッシリヤの王テルガデ・ピルネセルは彼の所に来たが、彼に力を添えないで、かえって、かえって彼を悩ました。

2歴28:21 アハズは主の宮と王の家、およびつかさたちの家の物を取ってアッシリヤの王に与えたが、それはアハズの助けにはならなかった。

2歴28:22 このアハズ王はその悩みの時にあたって、ますます主に罪を犯した。

2歴28:23 すなわち、彼は自分を撃ったダマスコの神々に、犠牲をささげて言った、"スリヤの王たちの神々はその王たちを助けるから、わたしもそれに犠牲をささげよう。そうすれば彼らはわたしを助けるであろう"と。しかし、彼らはかえってアハズとイスラエル全国とを倒す者となった。

2歴28:24 アハズは神の宮の器物を集めて、神の宮の器物を切り破り、主の宮の戸を閉じ、エルサレムのすべてのすみずみに祭壇を造り、

2歴28:25 ユダのすべての町々に高き所を造って、他の神々に香をたきなどして、先祖の神、主の怒りを引き起

した。

2歴28:26 アハズのその他の始終の行為およびそのすべての行動は、ユダとイスラエルの列王の書にしるされている。

2歴28:27 アハズはその先祖たちと共に眠ったので、エルサレムの町にこれを葬った。しかし、イスラエルの王たちの墓には持って行かなかった。その子ヒゼキヤが彼に代って王となった。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴29: 歴代志下 第29章

2歴29:1 ヒゼキヤは王となった時25歳で、29年の間エルサレムで世を治めた。その母アビヤと言って、ゼカリヤの娘である。

2歴29:2 ヒゼキヤは父ダビデがすべてなしたように主の良しと見られることをした。

2歴29:3 彼はその治世の第1年の1月に主の宮の戸を開き、かつこれを繕った。

2歴29:4 彼は祭司とレビびとを連れていって、東の広場に集め、

2歴29:5 彼らに言った、“レビびとよ、聞きなさい。あなたがたは今、身を清めて、あなたがたの先祖の神、主の宮を清め、聖所から汚れを除き去りなさい。

2歴29:6 われわれの先祖は罪を犯し、われわれの神、主の悪と見られることを行って、主を捨て、主のすまいに顔をそむけ、うしろを向けた。

2歴29:7 また廊の戸を閉じ、ともしびを消し、聖所でイスラエルの神に香をたかず、燔祭をささげなかった。

2歴29:8 それゆえ、主の怒りはユダとエルサレムに臨み、あなたがたが目に見るように、主は彼らを恐れと驚きと物笑いにされた。

2歴29:9 見よ、われわれの父たちはつぎにたおれ、われわれのむすこたち、むすめたち、妻たちはこれがために捕虜となった。

2歴29:10 今わたしは、イスラエルの神、主と契約を結ぶ志をもっている。そうすればその激しい怒りは、われわれを離れるであろう。

2歴29:11 わが子らよ、今は怠ってはならない。主はあなたがたを選んで、主の前に立って仕えさせ、ご自分に仕える者となし、また香をたく者とされたからである”。

2歴29:12 そこでレビびとは立ち上がったすなわちコハテびとの子孫のうちでは、アマサイの子マハテおよびアザリヤの子ヨエル、メラリの子孫では、アブデの子キシおよびエハレレルの子アザリヤ、ゲルションびとのうちでは、ジンマの子およびヨアの子エデン。

2歴29:13 エリザパンの子孫のうちでは、シムリとエイエル、アサフの子孫のうちでは、ゼカリヤとマツクニヤ。

2歴29:14 ヘマンの子孫のうちでは、エヒエルとシメイ。エドトンの子孫のうちでは、シマヤとウジエルである。

2歴29:15 彼らはその兄弟たちを集めて身を清め、主の言葉による王の命令に従って、主お宮を清めるためにはいって来た。

2歴29:16 祭司たちが主の宮の奥にはいってこれを清め、主の宮にあった汚れた物をことごとく主の宮の庭に運び出すと、レビびとはそれを受けて外に出し、キデロン川に持って行った。

2歴29:17 彼らは正月の元日に清めることを始めて、その月の8日に主の宮の廊に達した。それから主の宮を清めるのに8日を費し、正月の16日にこれを終った。

2歴29:18 そこで彼らはヒゼキヤ王の所へ行って言った、“われわれは主の宮をことごとく清め、また燔祭の壇とそのすべての器物、および供えのパンの机とそのすべての器物とを清めました。

2歴29:19 またアハズ王がその治世に罪を犯して捨てたすべての器物をも整えて清めました。それらは主の祭壇の前にあります”。

2歴29:20 そこでヒゼキヤ王は朝早く起きいで、町のつかさたちを集めて、主の宮に上って行き、

2歴29:21 雄牛7頭、雄羊7頭、小羊7頭、雄やぎ7頭を引いてこさせ、国と聖所とユダのためにこれを罪祭とし、アロンの子孫である祭司たちに命じてこれを主の祭壇の上にささげさせた。

2歴29:22 すなわち、雄牛をほふると、祭司たちはその血を受けて祭司にふりかけ、また雄羊をほふると、その血を祭壇にふりかけ、また小羊をほふると、その血を祭壇にふりかけた。

2歴29:23 そして罪祭の雄やぎを王と会衆の前に引いて来たので、彼らはその上に手を置いた。

2歴29:24 そして祭司たちはこれをほふり、その血を罪祭として祭壇の上にささげてイスラエル全国のためにあが

ないをした。これは王がイスラエル全国のために燔祭および罪祭をささげることを命じたのである。

2歴29:25 王はまたレビびとを主の宮に置き、ダビデおよび王の先見者ガドと預言者ナタンに従って、これにシンバル、立琴および琴をとらせた。これは主がsno預言者によって命じられたところである。

2歴29:26 こうしてレビびとはダビデの楽器をとり、祭司はラッパをとって立った。

2歴29:27 そこでヒゼキヤは燔祭をささげ始めた時、主の歌をうたい、ラッパを吹き、イスラエルの王ダビデの楽器をならし始めた。

2歴29:28 そして会衆は皆礼拝し、歌うたう者は歌をうたい、ラッパ手はラッパを吹き鳴らし、燔祭が終るまですべてこのようであったが、

2歴29:29 ささげる事が終ると、王および彼と共にいた者はみな身をかがめて礼拝した。

2歴29:30 またヒゼキヤ王およびつかさたちはレビびとに命じて、ダビデと先見者アサフの言葉をもって主をさんびさせた。彼らは喜んでさんびし、頭をさげて礼拝した。

2歴29:31 その時、ヒゼキヤは言った、“あなたがたはすでに主に仕えるために身を清めたのであるから、進みよって主の宮に犠牲と感謝の供え物を携えて来なさい”と。そこで会衆は犠牲と感謝の供え物を携えて来た。また志ある者は皆燔祭を携えて来た。

2歴29:32 会衆の携えて来た燔祭の数は雄牛7頭、雄羊7頭、小羊200頭、これらは皆主に燔祭としてささげるものであった。

2歴29:33 また奉納物は牛600頭、小羊3000頭であった。

2歴29:34 ところが祭司が少なくてその燔祭の物の皮をはぎつくすことができなかったので、その兄弟であるレビびとがこれを助けて、そのわざをなし終え、その間に他の祭司たちは身を清めた。これはレビびとが祭司たちよりも、身を清めることに、きちょうめんであったからである。

2歴29:35 このほかおびただしい燔祭があり、また、酬恩祭の脂肪および燔祭の灌祭もあった。こうして、主の宮の勤めは回復された。

2歴29:36 この事は、にわかになされたけれども、神がこのように民のために備えをされたので、ヒゼキヤおよびすべての民は喜んだ。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴30: 歴代志下 第30章

2歴30:1 ヒゼキヤはイスラエルとユダにあまねく人をつかわし、また手紙をエフライムとマナセに書き送り、エルサレムにある主の宮に来て、イスラエルの神、主に過越の祭を行うように勧めた。

2歴30:2 王はすでにつかさたちおよびエルサレムにおる全会衆に計って、2月に過越の祭を行うことを定めた。

2歴30:3 ーーこれは身を清めた祭司の数が足らず、民もまた、エルサレムに集まらなかったため、正月にこれを行うことができなかったからであるーー

2歴30:4 この事が、王にも全会衆にもよかつたので、

2歴30:5 この事を定めて、ベエルシバからダンまでイスラエルにあまねくふれ示し、エルサレムに来て、イスラエルの神、主に過越の祭を行うことを勧めた。これはしるされているように、これを行う者が多くなかつたゆえである。

2歴30:6 そこで飛脚たちは、王とそのつかさたちから受けた手紙をもって、イスラエルとユダをあまねく行き巡り、王の命を伝えて言った、“イスラエルの人々よ、あなたがたはアブラハム、イサク、イスラエルの神、主に立ち返りなさい。そうすれば主は、アッシリヤの王たちの手からのが◆

30,6-1,手からのがれた残りのあなたがたに、帰られるでしょう。

2歴30:7 あなたがたの父たちおよび兄弟たちのようになってはならない。彼らはその先祖たちの神、主にむかつて罪を犯したので、あなたがたの見るように主は彼らを滅びに渡されたので。

2歴30:8 あなたがたの父たちのように強情にならないで、主に帰伏し、主がとこしえに聖別された聖所に入り、あなたがたの神、主に仕えなさい。そうすれば、その激しい怒りがあなたがたを離れるでしょう。

2歴30:9 もしあなたがたが主に立ち返るならば、あなたがたの兄弟および子供は、これを捕えていった者の前にあわれみを得て、この国に帰ることができるでしょう。あなたがたの神、主は恵みあり、あわれみある方であられるゆえ、あなたがたが彼に立ち返るならば、顔をあなたが

2歴30:9-1 あなたがたにそむけられることはありません”。

2歴30:10 このように飛脚たちは、エフライムとマナセの国にはいって、町から町に行き巡り、ついに、ゼブルンまで言ったが、人々はこれをあざけり笑った。

2歴30:11 ただシアセル、マナセ、ゼブルンのうちには身を低くして、エルサレムにきた人々もあった。

2歴30:12 またユダにおいては神の手が人々に1つ心を与えて、王とつかさたちが主の言葉によって命じたことを行わせた。

2歴30:13 こうして2月になって、多くの民は、種入れぬパンの祭を行うためエルサレムに集まったが、非常に大きな会衆であった。

2歴30:14 彼らは立ってエルサレムにあるもろもろの祭壇を取り除き、またすべての香をたく祭壇を取り除いてキデロン川に投げすて、

2歴30:15 2月の14日に過越の子羊をほふった。そこで祭司たちおよびレビびとはみずから恥じ、身を清めて主の宮に燔祭を携えて来た。

2歴30:16 彼らは神の人モーセの律法に従い、いつものようにその所に立ち、祭司たちは、レビびとの手から血を受けて注いだ。

2歴30:17 時に、会衆のうちはまだ身を清めていない者が多かったので、レビびとはその清くないすべての人々に代って過越の小羊をほふり、主に清めてささげた。

2歴30:18 多くの民すなわちエルサレム、マナセ、イッサカルゼブルンからきた多くの者はまだ身を清めていないのに、書きしるされたとおりにしないで過越の物を食べた。それでヒゼキヤは、彼らのために祈って言った、“恵みふかき主よ、彼らをゆるしてください。

2歴30:19 彼らは聖所の清めの規定どおりにしなかったけれども、その心を傾けて神を求め、その先祖の神、主を求めたのです”。

2歴30:20 主はヒゼキヤに聞いて、民をいやされた。

2歴30:21 そこでエルサレムに来ていたいすらえるの人々は大いなる喜びをいできて、7日のあいだ種入れぬパンの祭を行った。またレビびとと祭司たちは日々に主をさんびし、力をつくして主をたたえた。

2歴30:22 そしてヒゼキヤは主の勤めによく通じているすべてのレビびとを深くねぎらった。こうして人々は酬恩祭の犠牲をささげ、その先祖の神、主に感謝して、7日のあいだ祭の供え物を食べた。

2歴30:23 なお全会衆は相はかって、さらに7日のあいだ祭を守ることを定め、喜びをもってまた7日のあいだ守った。

2歴30:24 時にユダの王ヒゼキヤは雄牛1000頭、羊7000頭を会衆に贈り、また、つかさたちは雄牛1000頭、羊1万頭を会衆に贈った。祭司もまた多く身を清めた。

2歴30:25 ユダの全会衆および祭司、レビびと、ならびにイスラエルからきた全会衆、およびイスラエルの血からきた他国人と、ユダに住む他国人は皆喜んだ。

2歴30:26 このようにエルサレムに大いなる喜びがあった。イスラエルの王ダビデの子ソロモンの時からこのかた、このような事はエルサレムになかった。

2歴30:27 このとき祭司たちとレビびとは立って、民を祝福したが、その声は聞かれ、その祈は主の聖なるすみかである天に達した。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴31: 歴代志下 第31章

2歴31:1 この事がすべて終わった時、そこにいたイスラエルびとは否、ユダの町々に出て行って、石柱を砕き、アシラ蔵を切り倒し、ユダとベニヤミンの全地、およびエフライムとマナセにある高き所と祭壇ととを取りこわし、ついにこれをことごとく破壊した。そしてイスラエルの人々はおの◆

31,1-1,おのおのその町々、その所領に帰った。

2歴31:2 ヒゼキヤは祭司およびレビびとの班を定め、班ごとにおのおのその勤めに従って、祭司とレビびとに燔祭と酬恩祭をささげさせ、主の宮の門で勤めをし、感謝をし、さんびをさせた。

2歴31:3 また燔祭のために自分の財産のうちから王の分を出した。すなわち朝夕の燔祭および安息日、新月、定め祭などの燔祭のために出して、主の律法にしるされているとおりにした。

2歴31:4 またエルサレムに住む民に、祭司とレビびとにその分を与えることを命じた。これは彼らをして主の律法に身をゆだねさせるためである。

2歴31:5 その命令が伝わるやいなや、イスラエルの人々は穀物、酒、油、蜜ならびに畑のもろもろの産物の発物を多くささげ、またすべての物の10分の1をおびたたく携えて来た。

2歴31:6 ユダの町々に住んでいたイスラエルとユダの人々もまた牛もまた羊の10分の1ならびにその神、主

にささげられた奉納物を携えてきて、これを積み重ねた。

2歴31:7 3月にこれを積み重ねることを始め、7月にこれを終った。

2歴31:8 ヒゼキヤおよびつかさたちは来て、その積み重ねた物を見、主とその民イスラエルを祝福した。

2歴31:9 そしてヒゼキヤがその積み重ねた物について祭司およびレビびとに問い尋ねた時、

2歴31:10 ザドクの家から出た祭司の長アザリヤは彼に答えて言った、“民が主の宮に供え物を携えて来ることを初めてからこのかた、われわれは飽きるほど食べたが、たくさん残りました。主がその民を恵まれたからです。それでわれわれは、このように多くの残った物をもっているのです”◆

31,10-1,いるのです”。

2歴31:11 そこでヒゼキヤは主の宮のうちに室を設けることを命じたので、彼らはこれを設け、

2歴31:12 その供え物の10分の1および奉納物を忠実に携え入れた。これをつかさどる者のかしらはレビびとコナニヤで、その兄弟シメイひや彼に次ぐ者となり、

2歴31:13 エヒエル、アザジヤ、ナハテ、アサヘル、エレモテ、ヨザバデ、エリエル、イスマキヤ、マハテ、ベナヤらは、ヒゼキヤ王および神の宮のつかさアザリヤの任命によって、コナニヤおよびその兄弟シメイを助けて、その監督者となった。

2歴31:14 東の門を守る者レビびとイムナの子コレは、神にささげる自発のささげ物をつかさどり、主の供え物および最も聖なる物を分配した。

2歴31:15 彼を助ける物はエデン、ミニヤミン、エシユア、シマヤ、アマリヤ、およびシカニヤで、皆祭司の町々でその兄弟たちに、班によって、老若ひとしく忠実に分配した。

2歴31:16 ただしすべて登録された3歳以上の男子で主の宮に入り、その班に従って日々の職分をつくし、その受持の勤めをなす者は除かれた。

2歴31:17 祭司の登録はその氏族によってなされ、20歳以上のレビびとの登録はその班により、その受持にしたがってなされた。

2歴31:18 また祭司はその幼な子、その妻、そのむすこ、その娘、全会衆と共に登録した。彼らは忠実に見を聖なる事にささげたからである。

2歴31:19 また町々の放牧地におけるアロンの子孫である祭司たちのためには、町ごとに人を名ざし選んで、祭司のうちのすべての男およびレビびとのうちの登録されたすべての者に、その分を与えさせた。

2歴31:20 ヒゼキヤはユダ全国にこのようにし、良い事、正しい事、忠実な事をその神、主の前に行った。

2歴31:21 彼がその神を求めるために神の宮の務につき、律法につき、戒めについて始めたわざは、ことごとく心をつくして行い、これをなし遂げた。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴32: 歴代志下 第32章

2歴32:1 ヒゼキヤがこれらの事を忠実にを行った後、アッシリヤの王セナケリブが来てユダに侵入し、堅固な町々に向かって人を張り、これを攻め取ろうとした。

2歴32:2 ヒゼキヤはセナケリブが来て、エルサレムを攻めようとするのを見たので、

2歴32:3 そのつかさたちおよび勇士たちと相談して、町の外にある泉の水を、ふさごうとした。彼らはこれを助けた。

2歴32:4 多くの民は集まって、すべての泉および国の中を流れる谷川をふさいで言った、“アッシリヤの王たちがきて、多くの水を得られるようなことをしておいていいだろうか”。

2歴32:5 ヒゼキヤはまた勇気を出して、破れた城壁をことごとく築き直して、その上にやぐらを建て、その外にまた城壁を巡らし、ダビデの町のミロを堅固にし、武器および建てを多く造り、

2歴32:6 軍長を民の上に置き、町の門の広場に民を集めて、これを励まして言った、

2歴32:7 “心を強くし、勇みたちなさい。アッシリヤの王をも、彼と共にいるすべての群衆をも恐れてはならない。おののいてはならない。われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも大いなる者だからである。

2歴32:8 彼と共にいる者は肉の腕である。しかしわれわれと共にいる者はわれわれの神、主であって、われわれを助け、われわれに代って戦われる”。民はユダの王ヒゼキヤの言葉に安心した。

2歴32:9 この後アッシリヤの王セナケリブはその全軍をもってラキシを囲んでいたが、その家来をエルサレムにつかわして、ユダの人に告げさせて言った、

2歴32:10 “アッスリヤの王ヒナケリブはこう言います、‘あなたがたは何を頼んでエルサレムにこもっているのか。
2歴32:11 ヒゼキヤは“われわれの神、主がアッスリヤの主がアッスリヤの王の手から、われわれを救ってくださる”
と言って、あなたがたをそそのかし、飢えとかわきをもって、あなたがたを死なせようとしているのではないか。
2歴32:12 このヒゼキヤは主のもろもろの高き所と祭壇を取り除き、ユダとエルサレムに命じて、“あなたがたはただ1つの祭壇の前で礼拝し、その上に犠牲をささげなければならない”と言った者ではないか。
2歴32:13 あなたがたは、わたしおよびわたしの先祖たちが、他の国々のすべての民にしたことを知らないのか。それらの国々の民の神々は、少しでもその国を、わたしの手から救い出すことができたが。
2歴32:14 わたしの先祖たちが滅ぼし尽したそれらの国民のもろもろの神のうち、だれか自分の民をわたしの手から救い出すことのできたものがあるか。それで、どうしてあなたがたの神が、あなたがたをわたしの手から救い出すことができよう。
2歴32:15 それゆえ、あなたがたはヒゼキヤに欺かれてはならない。そそのかされてはならない。また彼を信じてはならない。いずれの民、いずれの国の神もその民をわたし手、または、わたしの先祖の手から救い出すことができなかつたのだから、ましてあなたがたの神が、どうしてわたしの◆
32,15-1,わたしの手からあなたがたを救い出すことができようか”。
2歴32:16 セナケリブの家来は、このほかにも多く主なる神、およびそのしもべヒゼキヤをそしった。
2歴32:17 セナケリブはまた手紙を書き送って、イスラエルの神、主をあざけり、かつそしって言った、“諸国の民の神々が、その民をわたしの手から救い出さなかつたように、ヒゼキヤの神も、その民をわたしの手から救い出さないであろう”と。
2歴32:18 そして彼らは大声をあげ、ユダヤの言葉をもって、城壁の上にいるエルサレムの民に向かって叫び、これをおどし、かつおびやかした。彼らは町を取るためである。
2歴32:19 このように彼らがエルサレムの神について語ること、人の手のわざである地上の民の神々について語るようであった。
2歴32:20 そこでヒゼキヤ王およびアモツの子預言者イザヤ共に祈って、天に呼ばわったので、
2歴32:21 主はひとりのみ使をつかわして、アッスリヤ王の陣営にいるすべての大勇士と将官、軍長らを滅ぼされた。それで王は赤面して自分の国に帰ったが、その神の家にはいった時、その子のひとりが、つるぎをもって彼をその所で殺した。
2歴32:22 このように主は、ヒゼキヤとエルサレムの住民をアッスリヤの王セナケリブの手およびすべての敵の手から救い出し、いたる所で彼らを守られた。
2歴32:23 そこで多くの人々はささげ物をエルサレムに携えてきて主にささげ、また宝物をユダの王ヒゼキヤに送った。この後ヒゼキヤは万国の民に尊ばれた。
2歴32:24 そのころ、ヒゼキヤは病んで死ぬばかりであったが、主に祈ったので、主はこれに答えて、しるしを賜わった。
2歴32:25 しかしヒゼキヤはその受けた恵に報いることをせず、その心が昂ったので、怒りが彼とユダおよびエルサレムに臨もうとしたが、
2歴32:26 ヒゼキヤはその心の高ぶりを悔いてへりくだり、またエルサレムの住民も同様にしたので、主の怒りは、ヒゼキヤの世には彼らに臨まなかつた。
2歴32:27 ヒゼキヤは富と栄光をきわめ、宝蔵を造って、金、銀、宝石、香料、酒および鶴首の尊い器者をおさめ、
2歴32:28 また倉庫を造って穀物、酒、油などの産物をおさめ、小屋を造って種々の家畜を置き、おりを造って羊の群れを置き、
2歴32:29 また多数の町を設け、かつ羊と牛をおびただしく所有した。神が保証に多くの家財を彼に賜わったからである。
2歴32:30 このヒゼキヤはまたギホンの水の上の源をふさいで、これをダビデの町の西の宝にまっすぐに引き下した。このようにヒゼキヤはそのすべてのわざをなし遂げた。
2歴32:31 しかしバビロンの君たちが使者をつかわして、この国にあった、しるしについて尋ねさせた時には、神は彼を試みて、彼の心にあることを、ことごとく知るために彼を捨て置かれた。
2歴32:32 ヒゼキヤのその他の行為およびその徳行は、アモツの子預言者の黙示とユダとイスラエルの列王の書にしるされている。
2歴32:33 ヒゼキヤはその先祖たちと共に眠ったので、ダビデの子孫の量のうちに高い所に葬られた。ユダの人々およびエルサレムの住民は皆その死に当って彼に敬意を表した。その子マナセが彼に代って王となった。
2歴***:
2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴33: 歴代志下 第33章

2歴33:1 マナセは12歳で王となり、55年の間エルサレムで世を治めた。

2歴33:2 彼は主がイスラエルの人々の前から追い払われた国々の民の憎むべき行いに見ならって、主の目の前に悪を行った。

2歴33:3 すなわち、その父ヒゼキヤがこわした高き所を再び築き、またもろもろのバアルのために祭壇を設け、アシラ像を造り天の万象を拜んで、これに仕え、

2歴33:4 また主が“わが名は永遠にエルサレムにある”と言われた主の宮のうちに数個の祭壇を築き、

2歴33:5 主の宮の2つの庭に天の万象のために祭壇を築いた。

2歴33:6 彼はまたベンヒノムの谷でその子供を火に焼いて供え物とし、占いをし、魔法をつかい、まじないを行い、口寄せと、占い師を任用するなど、主の前に多くの悪を行って、その怒りをひき起した。

2歴33:7 彼はまた刻んだ偶像を造って神の宮に安置した。神はこの宮についてダビデとその子ソロモンに言われことがある、“わたしはこの宮と、わたしがイスラエルのすべての部族のうちから選んだエルサレムとに、わたしの名を永遠に置く。

2歴33:8 彼らがもし、わたしがすべて命じた事、すなわち、“モーセが伝えたすべての律法を定めとおきてとを慎んで行うならば、わたしがあなたがたの先祖のために定めた地から、重ねてイスラエルの足を移すことをしない”と。

2歴33:9 マナセはこのようにユダとエルサレムの住民を迷わせ、主がイスラエルの人々の前に滅ぼされた国々の民にもまさって悪を行わせた。

2歴33:10 主はマナセおよびその民に告げられたが、彼らは心に留めなかった。

2歴33:11 それゆえ、主はアッシリヤの王の軍勢の諸將をこれに攻めこさせられたので、彼らはマナセをかぎで捕え、青銅のかせにつないで、バビロンに引いて行った。

2歴33:12 彼は悩みにあうに及んで、その神、主に願い求め、その先祖の神の前に大いに身を低くして、

2歴33:13 神に祈ったので、神はその祈を受けいれ、その願いを聞き、彼をエルサレムに連れ帰って、再び国に臨ませられた。これによってマナセは主こそ、まことに神にいますことを知った。

2歴33:14 この後、彼はダビデの町の外の石がきをギホンの西の宝の谷のうちに築き、魚の門の入口にまで及ぼし、またオペルに石がきをめぐらして、非常に高くこれを築き上げ、ユダのすべての堅固な町に軍長を置き、

2歴33:15 また主の宮から、異邦の神々および偶像を取り除き、主の宮の山とエルサレムに自分で築いたすべての祭壇を取り除いて、町の外に投げ捨て、

2歴33:16 主の祭壇を築き直して、酬恩祭および感謝の犠牲を、その上にささげ、ユダに命じてイスラエルの神、主に仕えさせた。

2歴33:17 しかし民は、なお高き所で犠牲をささげた。ただしその神、主にのみささげた。

2歴33:18 マナセのそのほかの行為、その神にささげた祈、およびイスラエルの神、主の名をもって彼に告げた先見者たちの言葉は、イスラエルの列王の記録のうちにしるされている。

2歴33:19 またその祈と、祈の聞かれた事、そのもろもろの罪と、とが、その身を低くする前に高き所を築いて、アシラ像および刻んだ像を建てた場所などは、先見者の記録のうちにしるされている。

2歴33:20 マナセはその先祖たちと共に眠ったので、その家に葬られた。その子アモンが彼に代って王となった。

2歴33:21 アモンは王となった時22歳で、2年の間エルサレムで世を治めた。

2歴33:22 彼はその父マナセのしたように主の前に悪を行った。すなわちアモンはその父マナセが造ったもろもろの刻んだ像の犠牲をささげて、これに仕え、

2歴33:23 その父マナセが身を低くしたように主の前に身を低くしなかった。かえってこのアモンは、いよいよそのとがを増した。

2歴33:24 その家来たちは党を結んで彼にそむき、彼をその家で殺した。

2歴33:25 しかし国の民は、党を結んでアモン王にそむいた者どもをことごとく撃ち殺した。そして国の民はその子ヨシヤを王となして、そのあとを継がせた。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴34: 歴代志下 第34章

2歴34:1 ヨシヤは8歳のとき王となり、エルサレムで31年の間世を治めた。

2歴34:2 彼は主の良しと見られることをなし、その父ダビデの道を行って、右にも左にも曲らなかつた。

2歴34:3 彼はまだ若かつたが、その治世の第8年に父ダビデの神を求め、その12年には高き所、アシラ像、刻んだ像、鑄た像などを除いて、ユダとエルサレムを清めることを始め、

2歴34:4 もろもろのバアルの祭壇を、自分の前で打ちこわさせ、その上に立っていた紅の祭壇を切り倒し、アシラ像、刻んだ像、鑄た像を打ち砕いて粉々にし、これらの像に犠牲をささげた者どもの量の上にそれをまき散らし、

2歴34:5 祭司らの骨をそのもろもろの祭壇の上で焼き、こうしてユダとエルサレムを清めた。

2歴34:6 またマナセ、エフライム、シメオンおよびナフタリの荒れた町々にもこのようにし、

2歴34:7 もろもろの祭壇をこわし、アシラ像およびもろもろの刻んだ像を粉々に打ち砕き、イスラエル全国の紅の祭壇をこごとく切り倒して、エルサレムに帰った。

2歴34:8 ヨシヤはその治世の18年に、国と宮とを清めた時、その神、主の宮を繕わせようと、アザリヤの子シャパン、町のつかさマナセヤおよびヨアハズの子士官ヨアをつかわした。

2歴34:9 彼らは大祭司ヒルキヤのもとへ行つて、神の宮にはいった金を渡した。これは門を守るレビびとがマナセ、エルサレムおよび他のすべてのイスラエル、ならびにユダとベニヤミンのすべての人、およびエルサレムの住民の手から集めたものである。

2歴34:10 彼らはこれを主の宮を監督する職工らの手に渡したので、主の宮で働く職工らは、これを宮を繕い直すために支払つた。

2歴34:11 すなわち、大工および建築者にこれを渡して、ユダの王たちが破つた建物のために、切り石および骨組の材木を買わせ、梁材を整えさせた。

2歴34:12 その人々は忠実に仕事をした。その監督者はメラリの子孫であるレビびとヤハテとオバデヤ、およびコハテびとの子孫であるゼカリヤとメシュラムであつて、工事をつかさどつた。また楽器に巧みなレビびとがこれに伴つた。

2歴34:13 彼らはまた荷を負う者を監督し、様々の仕事に働くすべての者をつかさどつた。また他のレビびとは書記となり、役人となり、また門衛となつた。

2歴34:14 さて彼らが主の宮にはいった金を取りだした時、祭司ヒルキヤはモーセの伝えた主お律法の書を発見した。

2歴34:15 そこでヒルキヤは書記官シャパンに言った、“わたしは主お宮で律法の書を発見しました”と。そしてヒルキヤはその書をシャパンに渡した。

2歴34:16 シャパンはその書を王のもとに持つて行き、さらに王に復命して言った、“しもべらはゆだねられた事をごとくなし、

2歴34:17 主の宮にあつた金をあけて、監督者の手および職工の手に渡しました”。

2歴34:18 書記官シャパンはまた王に告げて、“祭司ヒルキヤはわたしに1つの書物を渡しました”と言ひ、シャパンはそれを王の前で読んだ。

2歴34:19 王はその律法の言葉を聞いて衣を裂いた。

2歴34:20 そして王はヒルキヤおよびシャパンの子ヒカムとミカの子アブドンと書記官シャパンと王の家来アサヤとに命じて言った、

2歴34:21 “あなたがたは行って、この発見された書物の言葉についてわたしのために、またイスラエルとユダの残りの者のために主に問いなさい。われわれの先祖たちが主お言葉を守らず、すべてこの書物にしるされていることを行わなかつたので、主はわれわれに大いなる怒りを注がれるか◆

34,21-1,注がれるからです”。

2歴34:22 そこでヒルキヤおよび王のつかわした人々は、シャルムの妻である女預言者ホルダのもとへ行つた。シャルムはハスラの子であるトクハテの子で、衣装を守る者である。時にホルダはエルサレムの第2区に住んでゐた。彼らはホルダにその趣意を語つたので、

2歴34:23 ホルダは彼らに言った、“イスラエルの神、主はこう仰せられます、‘あなたがたをわたしにつかわした人に告げなさい。

2歴34:24 主はこう仰せられます。見よ、わたしはユダの王の前で読んで書物にしるされているもろもろののろい、すなわち災をこの所と、ここに住む者に下す。

2歴34:25 彼らはわたしを捨てて、他の神々に香をたき、自分の手で造つたもろもろの者をもって、わたしの怒りを引き起そうとしたがらである。それゆゑ、わたしの怒りは、この所い注がれて消えない。

2歴34:26 しかしあなたがたをつかわして、主に問わせるユダの王にはこう言いなさい。イスラエルの神、主はこう

仰せられる。あなたが聞いた言葉については、

2歴34:27 この所と、ここに住む者を攻める神の言葉を、あなたが聞いた時、心に悔い、神の前に身をひくくし、わたしの前にへりくだり、衣を裂いて、わたしの前に泣いたので、わたしもまた、あなたに聞いた、と主は言われる。

2歴34:28 見よ、わたしはあなたを先祖たちのもとに集める。あなたは安らかにあなたの量に集められる。あなたはわたしがこの所と、ここに住む者に下すもろもろの災を目に見ることがない”。彼らは王に復命した。

2歴34:29 そこで王は人をつかわしてユダとエルサレムの長老をことごとく集め、

2歴34:30 そして王は主の宮に上って行った。ユダのすべての人々、エルサレムの住民、祭司、レビびと、およびすべての民は老いた者も若い者もことごとく彼に従った。そこで王は主の宮で発見した契約の書の言葉を、ことごとく彼らの耳に読み聞かせ、

2歴34:31 そして王は自分の所に立って、主の前に契約を立て、主に従って歩み、心をつくし、精神をつくして、その戒めと、あかしと定めとをまもり、この書にしるされた契約の言葉を行おうと言ひ、

2歴34:32 エルサレムおよびベニヤミンの人々を皆これに加わらせた。エルサレムの住民は先祖の神であるその神の契約にしたがって行った。

2歴34:33 ヨシヤはイスラエルの人々に属するすべての地から憎むべきものをことごとく取り除き、イスラエルにいるすべての人をその神、主に仕えさせた。ヨシヤが読にある日の間は、彼らは先祖の神、主に従って離れなかった。

2歴*:**

2歴*:**

2歴*:**

2歴*:**

2歴*:**

2歴35: 歴代志下 第35章

2歴35:1 ヨシヤはエルサレムで主に過越の祭を行った。すなわち正月の14日に過越の子羊をほふらせ、

2歴35:2 祭司にその職務をとり行わせ、彼らを励まして主の宮の務をさせ、

2歴35:3 また主の聖なる者となってすべてのイスラエルびとを教えるレビびとに言った、“あなたがたはイスラエルの王ダビデの子ソロモンの建てた宮に、聖なる箱を置きなさい。再びこれを形になうに及ばない。あなたがたの神、主およびその民イスラエルに仕えなさい。

2歴35:4 あなたがたはイスラエルお王ダビデの書、およびその子ソロモンの書に基いて氏族にしたがい、その班によって、みずから供えをなし、

2歴35:5 あなたがたの兄弟である民の人々の氏族の区分にしたがって聖所に立ち、このためにレビびとの氏族の分が欠けることのないようにしなさい。

2歴35:6 あなたがたは過越の小羊をほふり、身を清め、あなたがたの兄弟のために供えをし、モーセが伝えた主の言葉にしたがって行いなさい”。

2歴35:7 ヨシヤは、小羊および小やぎを民の人々に贈った。これは皆その所にいるすべての人のための過越の供え物であって、その数3万、また雄牛3000を贈った。それらは王の所有Ikara出したのである。

2歴35:8 そのつかさたちも民と祭司とレビびとに真心から贈った。また神の宮のつかさたちヒルキヤ、ゼカリヤ、エヒエルも小羊と小やぎ2600頭、牛300頭を祭司に与えて過越の供え物とした。

2歴35:9 またレビびとの長である人々すなわちコナニヤおよびその兄弟シマヤ、ネタンエルならびにハシャビヤ、エイエル、ヨザバデなども小羊と小やぎ5000頭、牛500頭をレビびとに贈って過越の供え物とした。

2歴35:10 このように勤めることが備わったので、王の命に従って祭司たちはその持ち場に立ち、レビびとはその班に従って仕え、

2歴35:11 やがて過越の小羊がほふられたので、祭司はその地を受け取って注いだ。レビびとはその皮をはいだ。

2歴35:12 それから燔祭の者をとり分け、それを民の人々の氏族の区分に従って渡し、主にささげさせた。これは模せの書にしるされたとおりでである。また牛をもこのようにした。

2歴35:13 そして定めに従って過越の小羊を火であぶり、その他の聖なる供え物を深なべ、かま、浅なべなどに煮て、急いですべての民の人々にくばった。

2歴35:14 その後、彼らは自分のためと、祭司たちのために備えをした。アロンの子孫である祭司たちは、燔祭と脂肪をささげるのに忙しくて、夜になったからである。それでレビびとは自分たちのためと、アロンの子孫である祭司たちのために備えたのである。

2歴35:15 アサフの子孫である歌うたう者たちは、ダビデ、アサフハマンおよび王の先見者エドトンの命に従ってその持ち場におり、門衛たちはおのおの門にいて、その職務を離れるに及ばなかった。兄弟であるレビびとが彼ら

のために備えたからである。

2歴35:16 このようにその火、主の勤めの事がことごとく備わったので、ヨシヤ王の命に従って過越の祭を行い、主の祭壇に燔祭をささげた。

2歴35:17 ここに来ていたイスラエルの人々は、その時過越の祭を行い、また7日の間、種入れぬパンの祭を行った。

2歴35:18 預言者サムエルの日からこのかた、イスラエルでこのような過越の祭を行ったことはなかった。またイスラエルの諸王のうちには、ヨシアが、祭司、レビびと、ならびにそこに来たユダとイスラエルのすべての人々、およびエルサレムの住民と共に行ったような過越の祭を行った者は◆

35,18-1,行った者はひとりもなかった。

2歴35:19 この過越の祭はヨシヤの治世の第18年に行われた。

2歴35:20 このようにヨシヤが宮を整えた後、エジプトの王ネコはユフラテ川のほとりにあるカルケミンで戦うために上ってきたので、ヨシヤはこれを防ごうと出て行った。

2歴35:21 しかしネコ量れに使者をつかわして言った、“ユダの王よ、われわれはお互に何のあずかるところがありますか。わたしはきょう、あなたを攻めようとして来たのではありません。わたしの敵の家を攻めようとして来たのです。神がわたしに命じて急がせています。わたしと共におら◆

35,21-1,共におられる神に逆らうことをやめなさい。そうしないと、神はあなたを滅ぼされるでしょう”。

2歴35:22 しかしヨシヤは引き返すことを好まず、かえって彼と戦うために、姿を変え、神の口から出たネコの言葉を聞きいれず、行ってメギドの谷で戦ったが、

2歴35:23 射手の者どもがヨシヤを射あてたので、王はその家来たちに、“わたしを助け出せ。わたしはひどく傷ついた”と言った。

2歴35:24 そこで家来たちは彼を車から助け出し、王のもっていた第2の車に乗せてエルサレムにつれて行ったが、ついに死んだので、その先祖の量にこれを葬った。そしてユダとエルサレムは皆ヨシヤのために悲しんだ。

2歴35:25 時にエレミヤはヨシヤのために哀歌を作った。歌うたう男、歌うたう女は今日に至るまで、その哀歌のうちにヨシヤのことを述べ、イスラエルのうちにこれを例とした。これは哀歌のうちにしるされている。

2歴35:26 ヨシヤのその他の行為、主の律法にしるされた所に従って行った徳行、

2歴35:27 およびその始終の行いなどは、イスラエルとユダの列王の書にしるされている。

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴***:

2歴36: 歴代志下 第36章

2歴36:1 国の民はヨシヤの小エホアハズを立て、エルサレムでその父に代って王とならせた。

2歴36:2 エホアハズは王となった時23歳で、エルサレムで3月の間、世を治めたが、

2歴36:3 エジプトの王はエルサレムで彼を廃し、かつ銀100タラント、金1タラントの罰金を国に課した。

2歴36:4 そしてエジプト王は彼の兄弟エリアキムをユダとエルサレムの王とし、その名をエホヤキムと改め、その兄弟エホアハズを捕えてエジプトへ引いて行った。

2歴36:5 エホヤキムは王となった時25歳で、11年の間エルサレムで世を治めた。彼はその神、主の前に悪を行った。

2歴36:6 時に、バビロンの王ネブカデネザルが彼の所に攻め上り、彼をバビロンに引いて行こうとして、かせにつないだ。

2歴36:7 ネブカデネザルはまた主の宮の器物をバビロンに運んで行って、バビロンにあるその宮殿にそれをおさめた。

2歴36:8 エホヤキムのその他の行為、その行った憎むべき事および彼がひそかに行った事などは、イスラエルとユダの列王の書にしるされている。その小エホヤキムが彼に代って王となった。

2歴36:9 エホヤキムは王となった時8歳で、エルサレムで3月と10日の間、世を治め、主の前に悪を行った。

2歴36:10 年が改まり春になって、ネブカデネザル王は人をつかわして、彼を主の宮の尊い器物と共にバビロンに連れて行かせ、その兄弟ゼデキヤをユダとエルサレムの王とした。

2歴36:11 ゼデキヤは王となった時21歳で、11年の間エルサレムで世を治めた。

2歴36:12 彼はその神、主の前に悪を行い、主の言葉を伝える預言者エレミヤの前に、身をひくくしなかった。

2歴36:13 彼はまた、彼に神をさして誓わせたネブカデネザル王にもそむいた。彼は強情で、その心をかたくな

にして、イスラエルの神、主に立ち返らなかった。

2歴36:14 祭司のかしらたちおよび民らもまた、すべて異邦人のもろもろの憎むべき行為にならって、はなはだしく罪を犯し、主がエルサレムに聖別しておかれた主の宮を汚した。

2歴36:15 その先祖の神、主はその民と、すみかをあわれむがゆえに、しきりに、その使者を彼らにつかわされたが、

2歴36:16 彼らが神の使者たちをあざけり、その言葉を軽んじ、その預言者たちをののしったので、主の怒りがその民に向かって起り、ついに救うことができないようになった。

2歴36:17 そこで主はカルデアびとの王を彼らに攻めこさせられたので、彼はその聖所の家でつるぎをもって若者たちを殺し、若者をも、処女をも、老人をも、しらがの者をもあわれまなかった。主は彼らをことごとく彼の手に渡された。

2歴36:18 彼は神の宮のもろもろの大小の器物、主の宮の貨財、王とそのつかさたちの貨財など、すべてこれをバビロンに携えて行き、

2歴36:19 神の宮を焼き、エルサレムの城壁をくずし、そのうちの宮殿をことごとく火で焼き、そのうちの尊い器物をことごとくこわした。

2歴36:20 彼はまたつるぎをのがれた物どもを、バビロンに捕えて行って、彼とその小らの家来となし、ペルシャの国の興るまで、そうして置いた。

2歴36:21 これはエレミヤの口によって伝えられた主の言葉の成就するためであった。こうして国はついにその安息をうけた。すなわちこれはその荒れている間、安息して、ついに70年が満ちた。

2歴36:22 ペルシャ王クロスの元年に当り、主はエレミヤの口によって伝えた主の言葉を成就するため、ペルシャ王クロスの霊を感動されたので、王はあまねく国中にふれ示し、またそれを書き示して言った、

2歴36:23 “ペルシャの王クロスはこう言う、‘天の神、主は地上の国々をことごとくわたしに賜わって、酬の宮をユダにあるエルサレムに建てることをわたしに命じられた。あなたがたのうち、その民である者は皆、その神、主の助けを得て上って行きなさい’”。